

2013年4月～2014年3月

JUAS 教育研修事業ご案内

■JUASセミナー

常に最新テーマのセミナーを企画しています。最新情報は以下をご覧ください。

http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/

■JUASオーダーメイド研修

セミナーのカスタマイズなど、貴社向けにオリジナル研修を開発します。

<http://www.juas.or.jp/seminar-event/order-made/index.html>

■JUAS出版

会員活動の成果やセミナーのノウハウを出版物として発行しています。

<http://www.juas.or.jp/product/>

<お問い合わせ先>

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 教育研修事業担当

オープンセミナー：森 平山 石川 オーダーメイド研修：角田 五十井 井上 出版：平山

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-10-11 井門堀留ビル4階

TEL：03-3249-4102 FAX：03-5645-8493

E-mail：seminar@juas.or.jp

セミナーの内容・構成は予告なく変更する場合があります。

開催1週間前に規定人数に達していない場合、中止する場合がございます。

簡単なアンケートや事前課題がある場合があります。その際は開催1週間前にご連絡致します。

2013.10.10 現在

JUAS 教育研修事業

＜経営視点＞

- ・経営戦略 ・IFRS ・IT投資対効果
- ・BSC ・人材育成 ・リスク管理

＜情報システム 構築・活用・運用＞

- ・IT関連法規 ・プロマネ ・品質管理
- ・企画力 ・オプショア ・要求仕様

＜ヒューマンスキル＞

- ・ヒアリング ・ファシリテーション
- ・メンタルヘルス ・リーダーシップ
- ・ロジカルシンキング

セミナー詳細・お問い合わせ

オープンセミナー： 森・平山
 オーダーセミナー： 角田・五十井・井上
 イノベーション経営カレッジ (IMCJ)： 佐藤
 電話 03-3249-4102 (9:30～17:30)
http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/index.asp

◆ セミナーのお問合せ・ご相談はお気軽に ◆

自社の要望にそった人材育成

オーダーセミナー

- ・ニーズや要望に沿った研修を提案
- ・1日あたり、40～50万円程度
- ・自社内のほか、JUAS研修室での開催も可能！

少数の新人を情報処理技術者レベルまで！

新人セミナー

- ・文章作法～IT企画～プログラムまで！
- ・2013年7月 20日間
- ・会員：399,000円 一般：493,500円

2013年度

IT経営人材育成

JUAS セミナー

講演型 先駆的事例発表型 演習型
異業種交流(他流試合)型

この他、各種報告書も販売しております。

JUASならではのラインアップ

オープンセミナー

- ・最新トレンドや調査結果を発信する講演型
- ・先駆的事例をオムニバスで発表する事例型
- ・知識習得と活用をその場で体得する演習型
- ・31,500円～ ・WEBより前日まで登録可能！

知識と実践演習の他流試合

中堅向け勉強会

- ・中堅社員の異業種交流(他流試合)セミナー
- ・会員：108,000円 一般：126,000円

「2013年度オープンセミナー」

早期割引実施！
(2013年1月～3月末日)

次世代CIOの育成！

イノベーション経営カレッジ

- ・第一線のCIOを講師に招致
- ・9日間 63万円(2013年7月開催予定)

J U A S オープンセミナー 2013年度開催一覧

①終了したセミナーも掲載しております。適宜ご要望に合わせて新セミナーも開催しております。最新情報はWEBをご覧ください。

http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/

②セミナーの内容・構成は予告なく変更する場合があります。

③開催1週間前に規定人数に達していない場合、中止する場合がございます。

コード	ITC認定 時間	名 称	講師	日時・会場等			参加費		
				開催日(初日)	時間帯	チケット 数	目標 (定員)	会員	一般
415074	6	第3回ヒューマンエラー防止のための品質マインドの向上方法と改善活動	北陸先端科学技術大学院大学 非常勤講師/元富士通 マーケティング本部人材開発部 シニアレク	13/04/09(火)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415076	6	第11回話し方を磨く講座	株式会社MOONコンサルティング 代表取締役	13/04/16(火)	10:00-17:30	1	30	31,500	39,900
415122	6	WBS作成の技術	株式会社ブライド チーフ・システム・コンサルタント	13/04/17(水)	10:00-17:00	1	20	31,500	39,900
415146	6	ビジネスモデル構築の作業ステップと手法	マネジメントテック/ロジャーズLLC 代表	13/04/18(木)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415158	4	経営に役立つ情報システムの日米徹底比較！	＜パナリスト＞カリフォルニア州立工科大学 教授 経営学博士 一色浩一郎氏/経済産業省 CIO補佐 官 平本健二氏/日経コンピュータ誌 副編集長 井 上健太郎氏＜モデレーター＞一般社団法人 日本情 報システム・ユースター協会 顧問 細川泰秀	13/04/19(金)	13:30-17:30	1	40	26,880	33,600
415150	6	実際の判決から学ぶプロジェクトマネジメント義務の研究	稲垣隆一法律事務所 弁護士	13/04/22(月)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415112	6	リーダーからPMへ効果的育成のノウハウ	ホワイトチャイルド 代表 米国PMI認定PMP、プロ ジェクトマネジメント講師	13/04/23(火)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415082	7	図解表現入門講座	文書支援コンサルタント	13/04/24(水)	10:00-18:00	1	30	31,500	39,900
415084	7	ソフトウェア開発におけるレビュー技法とレビュー計画策定の視点	株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリ ケーションサービス事業部 部長	13/05/09(木)	10:00-18:00	1	30	31,500	39,900
415136	6.5	第10回清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座	株式会社システムクリエイティブ 代表取締役 ケン・ジョン・サバース	13/05/09(木)	10:00-17:30	1	40	31,500	39,900
415086	6	簡単に出来る「リスクの見える化」ど「リスク管理」実践法	北陸先端科学技術大学院大学 非常勤講師/元富士通 マーケティング本部人材開発部 シニアレク ター	13/05/14(火)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415002	36	IT駆動型 新・サービス創造塾 好評！第2期	(株)JTBビジネスイノベーションズ 代表取締役常務 北上 真一氏/かながわサイエンスパーク(株式会社 社)エイエスピー)インキュベーター、投資事業部インキュ ベーション&インベストメントマネージャー 栗田秀臣 氏/(株)エス・ウェア代表取締役社長 矢野 晋氏 (株)日本能率協会コンサルティング 経営戦略本 部 チーフ・コンサルタント 池田 裕一氏/同、経営戦 略本部 チーフ・コンサルタント 伊藤冬樹氏 /(一 社)日本情報システム・ユースター協会 専務理事 金 修	13/5/15日(水)	5	5	20	144,000	180,000
415088	6	システム開発プロジェクトにおけるメンバーの多様性を活かすチームビル ディング実践講座	株式会社アスカプランニング 代表取締役社長	13/05/15(水)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415106	7	図表化技法実践講座	株式会社ブライド チーフ・システム・コンサルタント	13/05/17(金)	10:00-18:00	1	25	31,500	39,900
415110	6	スマホ・タブレットPC、BYOD、SNS利用のリスク評価(見直し)と利用規 定案解説	リコー・ヒューマン・クリエイティブ株式会社 リコー情報セ キュリティ研究センター 所長	13/05/21(火)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415126	7	第4回運用の実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座	株式会社ピー・エム・アライメント 取締役 ビジネス コンサルティング部長	13/05/21(火)	10:00-18:00	1	25	31,500	39,900
415090	6	わかりやすいマニュアル作成～操作マニュアル・取扱説明書編 (改訂:「操作マニュアル」「取扱説明書」の作成ノウハウ)	文書支援コンサルタント	13/05/22(水)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415120	6	リスク管理のための文書管理研究	社団法人日本経営協会チーフコンサルタント	13/05/23(木)	10:00-17:00	1	24	31,500	39,900
415148	5	中国とのIT取引の法的リスクと関連法務入門	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士	13/05/24(金)	10:00-16:00	1	30	31,500	39,900
415161	6	「業務改善手法」の徹底研究～ABC/ABMによる業務改善・IT投資効果 分析の進め方	前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締 役	13/05/27(月)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415030	7	第20回事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策	マネジメントテック/ロジャーズLLC 代表	13/05/28(火)	10:00-18:00	1	20	31,500	39,900
415108	6	コンピュータソフトウェアに関する著作権の実務知識と法的リスクの未然 回避策	遠山康法法律事務所 弁護士	13/05/29(水)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415114	6	システム運用サービス設計の実現方策、設計マニュアル作成のポイント と事例の解説	エイチ・アイ・ティ・コンサルティング 主任コンサルタ ント 堀 秀雄氏/株式会社NEC情報システムズ エンタープライゼスシステム事業部 クループマネー 株式会社CACエグジクティブ 人事部 キャリアアドバイ ザー 情報処理技術者試験委員	13/05/30(木)	10:00-17:00	1	30	31,500	39,900
415054	7	第15回 若手SEのためのロジカルシンキング入門	寺池光弘氏	13/06/05(水)	10:00-18:00	1	25	31,500	39,900

コード	ITC認定 時間	名 称	講師	日時・会場等			参加費	
				開催日(初日)	時間帯	チケット 数	目標 (定員)	一般 会員
415154	6	第3回ITの現場における交渉術と交渉力強化セミナー	株式会社アスカプランニング 代表取締役社長 永谷裕子氏／PMI日本支部 濱久人氏	13/06/05(水)	10:00-17:00	1	20	31,500
415042	14	第24回ソフトウェア文章化作法中堅管理者向け	テクノロジ・オ・アジア株式会社 代表取締役 福田修氏	13/06/06(木)	10:00-18:00	2	25	63,000
415104	6	保守・運用委託契約、クラウドサービス利用における法的問題点とリスク管理のポイント	稲垣隆一 氏	13/06/10(月)	10:00-17:00	1	30	31,500
415034	14	第31回IT投資対効果とその評価方法 実践モデル構築体験講座	前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋雅夫氏	13/06/11(火)	10:00-18:00	2	20	63,000
415140	6.5	第7回清水吉男の保守改良(派生開発)にマッチした仕様変更管理と書き方講座	株式会社システムクリエイツ 代表取締役 清水吉男氏	13/06/11(火)	10:00-17:30	1	40	31,500
415008	14	第22回実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～提案・見積、PM強化編～	株式会社ビー・エム・アライメント 代表取締役社長 佐藤義男氏	13/06/13(木)	10:00-18:00	2	24	63,000
415163	6	現場で使える「品質の見える化」と「定量的品質管理」実践法	北陸先端科学技術大学院大学 非常勤講師／元富士通 マーケティング本部人材開発部 シニアレク 関 弘 充 氏	13/06/14(金)	10:00-17:00	1	30	31,500
415116	6	早期に人材を人材に育てる研修の企画と効果測定法講座 (改訂11月に効果を上げる研修のあり方と研修効果を高めるための効果測定法Ⅱ)	株式会社総合教育研究所 代表取締役 石橋正利氏	13/06/18(火)	10:00-17:00	1	24	31,500
415096	7	第7回業務プロセス化セッションにおける話し方を磨く講座	株式会社MOONコンサルティング 代表取締役 町田和隆氏	13/06/19(水)	10:00-18:00	1	30	31,500
415052	7	第4回ビジネスプロセスを改革するフレームワーク適用実践講座～IT視点から革新を生み出す思考法を学ぶ～	元アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア) パートナー／明治大学ビジネススクール・グローバル・ハルビシネス研究科 兼任講師／(株)クリアテック 取 瀬美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士 小山孔司氏	13/06/20(木)	10:00-18:00	1	25	31,500
415164	6	情報システム・IT取引のグローバル化に伴う法的リスクと国際法務知識入門	暹美坂井法律事務所 代表取締役 角田 邦洋氏	13/06/25(火)	10:00-17:00	1	30	31,500
415050	14	第30回文章化作法 初級 若手向け	株式会社ティー・ジー・情報ネットワーク 基盤戦略推進部 アプリ基盤グループ シニアプロジェクトマネージャ 上田志雄氏	13/06/27(木)	10:00-18:00	2	25	63,000
415165	4	IT投資(ソフト・ハード)の会計と税務～日本基準・IFRS・税務基準についての解説～	新日本有限責任監査法人 第Ⅲ監査事業本部 監査人 片倉正美氏・林一樹氏	13/06/27(木)	13:00-17:00	0.5	30	21,000
415098	6	経営者・管理者が見るべき経営管理レポート(管理帳票)の設計手法と見直しポイント	MNG法人 第Ⅱ監査事業本部 監査第8部 公認会計士 マネジメントテクノロジー・ズLLC 代表 尾田友志氏	13/06/28(金)	10:00-17:00	1	30	31,500
415062	7	第8回若手SEのためのロジカルシンキング・プロセス分析編-ザー 情報処理技術者試験委員	株式会社CACエクスケア 人事部 キャリアアドバイザー 寺池光弘氏	13/07/03(水)	10:00-18:00	1	25	31,500
415100	7	プロジェクトにおける品質管理計画の立て方	株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 部長 木村利昭氏	13/07/04(木)	10:00-18:00	1	30	31,500
415169	6	システム開発プロジェクトに派遣要員を受け入れる場合の留意点	加藤労働経済・派遣研究所	13/07/05(金)	10:00-17:00	1	30	31,500
415048	7	第5回問題の本質を解き明かす「着想の技術」	フロンティアテクノロジー(株)常務執行役員/エグゼクティブコンサルタント 西嶋陽一氏	13/07/10(水)	10:00-18:00	1	25	31,500
415046	7	第8回発想力を磨く「問題感知」課題発見力強化	株式会社TRUソリューションズ 代表取締役 河尻直己氏	13/07/17(水)	10:00-18:00	1	20	31,500
415132	7	第4回フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ、プロジェクトマネージャーの勝利の方程式	KNコンサルティング株式会社 代表取締役 南俊基氏	13/07/18(木)	10:00-18:00	1	25	31,500
415175	4	消費税増税到来に備えるIT取引・システム改修の課題と対応の動所	南公認会計士事務所 公認会計士 花村 友氏	13/07/22(月)	13:00-17:00	1	30	21,000
415160	6	戦略的システム・ビジネスモデルの特許要件・リスク回避策・調査方法入	三和特許事務所 弁理士 尾田友志氏	13/07/23(火)	10:00-17:00	1		
415162	6	第2回超上流工程、さらにその上の潮流における作業コミュニケーション	マネジメントテクノロジー・ズLLC 代表 長山田 一郎 氏	13/07/29(月)	10:00-17:00	1	30	31,500
415171	6	コスト削減に寄与する「ICT資産管理」の適正化とシステム化研究	プライスウォーターハウスクーパース株式会社 シニアマネージャー 山 正行 氏/東京ITソリューション会社(東証一部上場)執行役員経営システム本部 長山田 一郎 氏	13/07/30(火)	10:00-17:00	1	30	31,500
415166	7	情報システム開発におけるリスクを未然防止するための管理手法研究	一般社団法人日本情報システム・ユースター協会 首席調査員 玉置 彰宏氏/株式会社東京証券取引所 品質管理部 課長 古川 正伸氏/一般社団法人日本情報システム・ユースター協会 セキュリティセンター プライバシーマーク審査担当 田中 幸一 氏	13/07/31(水)	10:00-17:00	1	30	31,500
415066	7	第4回若手SEのためのロジカルシンキング ～ライティング編	株式会社CACエクスケア 人事部 キャリアアドバイザー 寺池光弘氏	13/07/31(水)	10:00-18:00	1	20	31,500

コード	ITC認定 時間	名 称	日時・会場等					講師	開催日(初日)	時間帯	日数	チケット 数	目標 (定員)	参加費	
			会員	一般											
415180	6時間10分	PMO運営の課題と打開策を考える	株式会社アスカプランニング 取締役社長 永谷裕子氏 / スミセイ情報システム株式会社 PMO部長 植括マネージャー 小浜 耕己氏 / 株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 部長 木村 利昭氏	永谷裕子氏・小浜耕己氏・木村利昭氏	13/08/01(木)	10:00-17:10	1	1	30	31,500	39,900				
415176	4	国民番号制度の概要と民間企業への影響	都市情報システム研究所所長 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会ISG情報システムコンサルタント)茶谷 運雄氏 / 株式会社富士通総研経済研究所 主席研究員 榎並 利博氏	茶谷運雄氏・榎並 利博氏	13/08/02(金)	13:00-17:00	0.5	1	30	21,000	26,250				
415014	7	第15回品質マネジメント実践講座～保守・運用編	株式会社CACエグゼクティブ 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員	中谷英雄氏	13/08/05(月)	10:00-18:00	1	1	24	31,500	39,900				
415068	7	第9回ITサービス向上のためのシステム運用業務改善ワークショップ～インジデント管理・問題管理編～	【講演】一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 顧問 細川 泰秀 / 株式会社ソフトロード 代表取締役社長 劉 忱氏 / イーコーポレーションITエンジニアー株式会社 代表取締役 電子政府推進委員(総務省)・政府情報システム改革検討会構成員(総務省) 榎 宗淳氏 / DIC株式会社 情報システム部 マーケティング本部人材開発部 シニアレク	寺池光弘氏	13/08/07(水)	10:00-18:00	1	1	25	31,500	39,900				
415172	6時間50分	外国人から見たグローバル化に伴う日本企業のIT投資・ITプロジェクトの問題点と打開策	新日本有限責任監査法人 エグゼクティブダイレクター 木村 アーティスト アンド ヤング税理士法人 税理士 米田公親会計士 マネジメントデプロロジーズLLC 代表	細川 泰秀・劉忱氏・榎宗淳氏・小田滋氏	13/08/09(金)	10:00-16:50	1	1	30	31,500	39,900				
415177	6	早期に成果(品質向上)を上げる協力的な管理実践法	株式会社総合教育研究所 代表取締役	関弘充氏	13/08/19(月)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415118	6	ファンリテーター養成講座	株式会社ブライト チーフ・システム・コンサルタント	石橋正利氏	13/08/20(火)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415178	6	受入テストの進め方	株式会社ピーエム・アラインメント 代表取締役社長	三輪 一郎氏	13/08/21(水)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415128	7	第4回ITプロジェクトマネージャーのための実践的ヒューマンスキル即戦力アップ講座	株式会社ピーエム・アラインメント 代表取締役社長	佐藤義男氏	13/08/22(木)	10:00-18:00	1	1	25	31,500	39,900				
415167	6	現場で使えるIT投資効果の評価手法と運用ポイント	新日本有限責任監査法人 エグゼクティブダイレクター 木村 アーティスト アンド ヤング税理士法人 税理士 米田公親会計士 マネジメントデプロロジーズLLC 代表	岡村和彦氏	13/08/23(金)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415168	4	IT投資の税務と税務対応で準備すべき事項	新日本アーニスト アンド ヤング税理士法人 税理士 米田公親会計士	竹内茂樹氏	13/08/26(月)	13:00-17:00	0.5	1	30	21,000	26,250				
415190	6	販売・顧客データ活用のための設例によるデータ分析技法の基礎から応用まで	マネジメントデプロロジーズLLC 代表	尾田友志氏	13/08/30(金)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415020	7	第15回プロジェクトパフォーマンクス分析実践講座	株式会社ピーエム・アラインメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長	中谷英雄氏	13/09/11(水)	10:00-18:00	1	1	24	31,500	39,900				
415197	6	第5回わかりやすいマニュアル作成～業務マニュアル・情報共有化文書	スミセイ情報システム株式会社 PMO部長 植括マネージャー 小浜耕己氏・富士通株式会社 SI技術本部 システム技術統括部 (マネージングIT)アーキテクト/河野太基氏	丸山有彦氏	13/09/12(木)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415215	6	第3回情報システムの非機能要求定義と合意形成	株式会社ピーエム・アラインメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長	小浜耕己氏・河野太基氏	13/09/13(金)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415196	6	システム開発契約の本質を理解し、内在するリスクの未然回避策を学ぶ	稲垣隆一法律事務所 弁護士	稲垣隆一氏	13/09/17(火)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415058	7	第8回若手SEのためのロジカルシンキング-システム企画編-	株式会社CACエグゼクティブ 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員	寺池光弘氏	13/09/18(水)	10:00-18:00	1	1	25	31,500	39,900				
415156	7	第3回投資と要求に合ったITプロジェクトの見極め方	株式会社ピーエム・アラインメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長	中谷英雄氏	13/09/19(木)	10:00-18:00	1	1	25	31,500	39,900				
415179	6	システム開発プロジェクトに派遣要員を受け入れる場合の留意点	加藤労働経済・派遣研究所	加藤高敏氏	13/09/24(火)	10:00-17:00	1	1	30	31,500	39,900				
415181	6.5	[コース受講]「ファクトベースで学ぶITマネジメントカアップ」集中コース	(株)東京海上日動火災保険 理事/IT企画部長 稲葉 茂氏・(株)JTB情報システム 執行役員/副運営管理部長 伊藤 誠氏・中部電力(株) 執行役員/情報システム部長 松田 信之氏・(株)株式会社リコー IT/S本部長(IT/S企画センター所長)石野 晋之氏 ほか	(株)野村総合研究所 研究理事 渡川氏・東京海上日動火災保険(株) 理事/IT企画部長 稲葉氏・本田技研工業(株) IT本部 本部長代行 参事 有吉氏・(株)JTB情報システム 執行役員/調達管理部長 伊藤氏・(株)ロート IT/システム システム企画部長 梶谷氏・中部電力(株) 執行役員/情報システム部長 松田氏・コベルコンシステム(株) 総務・人財部 人事企画グループ長 飯塚氏・(株)リコー IT/S本部長 石野氏・アスラテス製薬(株)コーポレートIT部長 須田氏・JUAS 浜田		13/09/26(木)	13:00-19:30	5	4	128,000	160,000				

コード	ITC認定 時間	名 称	講師	日時・会場等				参加費	
				開催日(初日)	時間帯	日数	チケット 数	目標 (定員)	一般 会員
415182	4	[スポーツ受講]「ファクトベースで学ぶITマネジメントカアップ」集中コース ～ビジネスイノベーションへの提案	(株)東京海上日動火災保険 理事/IT企画部長 稲葉 茂氏・(一社)日本情報システム・ユ・エーザー協会 常務理事 浜田 達夫 ほか	13/09/26(木)	13:00-17:00	0.5	1	25	21,000 26,250
415144	6.5	第3回清水吉男の抜ける無い仕様が書けるUSDM表記法マスター講座	株式会社システムクリエイティブ 代表取締役 清水吉男氏	13/10/03(木)	10:00-17:00	2	2	16	63,000 79,800
415038	7	第10回プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～開発編	株式会社フォーエム・アライメント 代表取締役 足立英治氏	13/10/07(月)	10:00-18:00	1	1	20	31,500 39,900
415026	14	第15回実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編	株式会社ビーエム・アライメント 取締役 ビジネス コンサルタント部長 中谷英雄氏	13/10/10(木)	10:00-18:00	2(連日)	2	24	63,000 79,800
415070	14	第5回ITサービス向上のためのシステム運用業務改善シリーズ～科学的 管理手法による攻めの運用サービス実現	株式会社CACエシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員 寺地光弘氏	13/10/16(水)	10:00-18:00	2	2	20	63,000 79,800
415216	7	第7回ソフトウェア開発を中心とした品質管理の考え方と品質評価のあり 方	株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリ ケーションサービス事業部 部長 木村利昭氏	13/10/17(木)	10:00-18:00	1	1	30	31,500 39,900
415195	6	アジャイル開発の本質的な理解と成功の勘所	株式会社新工業株式会社 情報システム部 課 長 熊野憲辰氏	13/10/21(月)	10:00-17:00	1	1	30	31,500 39,900
415207	6.5	自分自身とメンバーのやる気を高められる『モチベーション・養成講座』 (第11回メンバーのやる気を高められるマネージャー・リーダー養成実践	株式会社総合教育研究所 代表取締役 石橋正利氏	13/10/22(火)	10:00-17:30	1	1	30	31,500 39,900
415183	4	[スポーツ受講]「ファクトベースで学ぶITマネジメントカアップ」集中コース ～IT投資マネジメント	(株)JTB情報システム 執行役 員/調達管理部長 伊藤 誠 氏・(株)ローレン・ITサービス システム企画部長 結谷 武 宏氏・(一社)日本情報システ ム・ユ・エーザー協会 常務理事 丸山有彦氏	13/10/23(水)	13:00-17:00	0.5	1	25	21,000 26,250
415200	7	図解表現入門講座	文書支援コンサルタント 宇野 和義氏 飯田 伸夫氏	13/10/23(水)	10:00-18:00	1	1	30	31,500 39,900
415220	6	画面・帳票に基く新しい規模見積手法研究	株式会社ピーエス・ソリューションズ 取締役 SMO推進部 部長 宇野 和義氏 飯田 伸夫氏	13/10/24(木)	10:00-17:00	1	1	30	31,500 39,900
415219	7	新人・配転者にもおススメ！イチから始めるシステム運用	株式会社ブライト チーフシステム・コンサルタント 三輪 一郎氏	13/10/29(火)	10:00-18:00	1	1	24	31,500 39,900
415208	6	WBS作成の技術	株式会社MOONコンサルタント 代表取締役 町田和隆氏	13/10/30(水)	10:00-17:00	1	1	20	31,500 39,900
415209	6.5	第12回話し方を磨く講座	株式会社CACエシケア 人事部 キャリアアドバイザー 寺地光弘氏	13/10/31(木)	10:00-17:30	1	1	18	31,500 39,900
415056	7	第16回 若手SEのためのロジカルシンキング入門	株式会社CACエシケア 人事部 キャリアアドバイザー 寺地光弘氏	13/11/06(水)	10:00-18:00	1	1	25	31,500 39,900
415072	7	第5回システム化企画力・構想力 勉強会	寺地光弘氏 足立英治氏	13/11/06(水)	10:00-18:00	4	4	20	108,000 126,000
415044	14	第25回ソフトウェア文章化作法中堅管理者向け	テクノロジー・オブ・アジア株式会社 代表取締役 マネジメントテクノロジー・LLC 代表	13/11/07(木)	10:00-18:00	2(連日)	2	25	63,000 79,800
415201	6	「業務改善手法」の徹底研究～ABC/ABWによる業務改善・IT投資効果分析の 進め方	前橋システムコンサルタント株式会社 代表取締役 尾田友志氏	13/11/12(火)	10:00-17:00	1	1	30	31,500 39,900
415032	7	第21回事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策	前橋システムコンサルタント株式会社 代表取締役 前橋雅夫氏	13/11/15(金)	10:00-18:00	1	1	20	31,500 39,900
415202	6	第2回簡単に出来る「リスクの見える化」と「リスク管理」実践法	北陸先端科学技術大学院大学 非常勤講師/元富 士通 マーケティング本部人材開発部 シニアレク 関弘充氏	13/11/19(火)	10:00-17:00	1	1	30	31,500 39,900
415184	4	[スポーツ受講]「ファクトベースで学ぶITマネジメントカアップ」集中コース ～IT推進組織とIT人材	中部電力(株)執行役員/情報システム部長 松田 信之氏・(一社)日本情報システム・ユ・エーザー協会 常務理事 浜田 達夫 ほか	13/11/21(木)	13:00-17:00	0.5	1	25	21,000 26,250
415213	6.5	ビッグデータ時代だからこそ、情報活用のあるべき姿を議論しよう	オムロン株式会社 グローバルサービスセンタ ーWebマーケティング推進課 海老原 吉晶氏/日産自 動車株式会社 グローバル情報システム本部 IS アーキテクト 氏 家 尚之氏 /大阪ガス株式 会社 情報通信部 ビジネスアナリストセンター副所 長 岡村智仁氏/日本テラデータ株式会社 コーポ レート・エンジェリスト/エグゼクティブ・コンサルタ ント 金井 啓一氏/株式会社小松製作所 情報戦略 本部テクノロジーグループマネージャー 三輪 一郎氏	2013/11/26	10:00-17:50	1	1	30	31,500 39,900
415210	7	図表化技法実践講座	株式会社ブライト チーフシステム・コンサルタント 三輪 一郎氏	13/11/27(水)	10:00-18:00	1	1	25	31,500 39,900

コード	ITC認定 時間	名 称	講師	日時・会場等				参加費	
				開催日(初日)	時間帯	日数	チケット 数	目標 (定員)	一般 会員
415203	6	第5回プロジェクト・マネジャー(PM)育成の具体的な仕組み・方法を考える	久入久氏	13/11/28(木)	10:00-17:00	1	1	30	31,500
415138	6.5	第11回清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座	清水吉男氏	13/11/29(金)	10:00-17:30	1	1	40	31,500
415211	7	第8回業務プロセス・エンジニアリングにおける話し方を磨く講座	町田和隆氏	13/12/03(火)	10:00-18:00	1	1	20	31,500
415016	7	第16回品質マネジメント実践講座～保守・運用編	中谷英雄氏	13/12/04(水)	10:00-18:00	1	1	24	31,500
415217	7	第8回ソフトウェア開発におけるレビュー技法とレビュー計画策定の視点	木村利昭氏	13/12/05(木)	10:00-18:00	1	1	30	31,500
415022	7	第16回プロジェクト・マネージャーマンズ分析実践講座	中谷英雄氏	13/12/09(月)	10:00-18:00	1	1	24	31,500
415205	6	経営者・管理者が見るべき経営管理レポート(管理帳票)の設計手法と見直しのポイント	尾田友志氏	13/12/10(火)	10:00-17:00	1	1	30	31,500
415170	6	第13回派遣法・職安法の実務ポイントと常駐請負の留意点	加藤高敏氏	13/12/11(水)	10:00-17:00	1	1	30	31,500
415036	14	第32回IT投資対効果とその評価方法 実践モデル構築体験講座	前橋雅夫氏	13/12/12(木)	10:00-18:00 2(連日)	2	2	20	63,000
415012	7	第11回調達マネジメント実践講座	佐藤義男氏	13/12/18(水)	10:00-18:00	1	1	24	31,500
415206	6	わかりやすいマニュアル作成～操作マニュアル・取扱説明書編	丸山有彦氏	13/12/19(木)	10:00-17:00	1	1	30	31,500
415185	4	[スポーツ受講]「ファクトベースで学ぶITマネジメントカアップ」集中コース～システム構築～経営戦略の実現	(株)リコー IT/S本部 部長 石野 晋之氏・(一社)日本情報システム・ユーザー協会 常務理事 浜田 達夫	13/12/20(金)	13:00-17:00	0.5	1	25	21,000
415214	7	第9回発想力を磨く「問題感知」課題発見力強化	西嶋陽一氏	14/01/17(金)	10:00-18:00	1	1	20	31,500
415142	6.5	第8回清水吉男の保守改良(派生開発)にマッチした仕様変更管理と書き方講座	清水吉男氏	14/01/21(火)	10:00-17:30	1	1	40	31,500
415221	6	情報システム部門のためのファイリング研究	石島正勝氏	14/01/22(水)	10:00-17:00	1	1	30	31,500
415186	4	[スポーツ受講]「ファクトベースで学ぶITマネジメントカアップ」集中コース～IT活用～システムライフサイクル管理	アステラス製薬(株)コーポレートIT部長 須田 真也氏・(一社)日本情報システム・ユーザー協会 常務理事 浜田 達夫 ほか	14/01/23(木)	13:00-17:00	0.5	1	25	21,000
415189	7	第5回提案の視点を磨く講座～数百事例の分析から導いた発想の視点を事例のシヤワーとともに学ぶ	元アンダーセン・コンサルティング(現アクセンチュア) パートナー／明治大学ビジネススクールのグローバル・ハルビシナス研究員 兼任講師／(株)クリアテック 取締役 長谷川 浩二氏	14/01/29(水)	10:00-18:00	1	1	25	31,500
415130	7	第5回ITプロジェクトマネージャのための実践的にユーザースキル即戦力アップ講座	株式会社ピー・エム・アライメント 代表取締役社長 佐藤 義男氏	14/02/06(木)	10:00-18:00	1	1	25	31,500
415064	7	第9回若手SEのためのロジカルシンキング・プロセス分析編～	株式会社CACエクスティア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員 寺池 光弘氏	14/02/12(水)	10:00-18:00	1	1	25	31,500
415040	7	第11回プロジェクト・ファシリテーション能力向上研修	株式会社フォーエム・アライメント 代表取締役 足立 英治氏	14/02/17(月)	10:00-18:00	1	1	20	31,500
415028	14	第16回実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編	株式会社ピー・エム・アライメント 取締役 ビジネス コンサルティング部長 中谷 英雄氏	14/02/27(木)	10:00-18:00 2(連日)	2	2	24	63,000
415024	7	第17回プロジェクト・マネージャーマンズ分析実践講座	株式会社ピー・エム・アライメント 取締役 ビジネス コンサルティング部長 中谷 英雄氏	14/03/05(水)	10:00-18:00	1	1	24	31,500
415134	7	第5回フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ、プロジェクトマネージャの勝利の方程式	河原直己氏	14/03/07(金)	10:00-18:00	1	1	25	31,500
415188	7	第5回若手SEのためのロジカルシンキング ～ライティング編	寺池 光弘氏	14/03/07(金)	10:00-18:00	1	1	20	31,500
415010	14	第23回実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～提案・見積、PM強化編～	株式会社ピー・エム・アライメント 代表取締役社長 佐藤 義男氏	14/03/10(月)	10:00-18:00 2(連日)	2	2	24	63,000
415018	7	第17回品質マネジメント実践講座～保守・運用編	中谷 英雄氏	14/03/19(水)	10:00-18:00	1	1	24	31,500
415222	28	要件定義 勉強会	寺池 光弘氏・足立 英治氏	14/02/14(金)	10:00-18:00	4	4	25	108,000
415223	6	情報システム開発/保守工程の各種指標と活用方法	細川 泰秀・福田 修氏	13/11/29(金)	10:00-17:00	1	1	30	31,500

コード	ITC認定 時間	名 称	講師	日時・会場等				参加費	
				開催日(初日)	時間帯	日数	チケット 数	目標 (定員)	一般
415224	6	個人情報等の機密情報が漏洩してしまった場合の対応実務	株式会社ラック取締役 最高技術責任者 西本逸郎氏／株式会社ラック セキュリティ事業本部 サイバー救急センター 犯罪調査グループ グループリーダー 関 宏介氏	13/11/07(木)	10:00-17:00	1	1	30	39,900
415225	6	国民番号制度と民間企業への影響	イーコーポレーション(JSDP)ジェーピー株式会社 代表取締役 電子政府推進員(総務省) 前政府情報システム改革検討会構成員(総務省) 康宗淳氏／株式会社富士通総研 経済研究所 主席研究員 榎並利博氏	13/11/25(月)	10:00-17:00	1	1	30	39,900

JUAS オープンセミナー ラインナップ概要（抜粋）

①終了したセミナーも掲載しております。適宜ご要望に合わせて新セミナーも開催しております。最新情報はWEBをご覧ください。

http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/

②セミナーの内容・構成は予告なく変更する場合があります。

③開催1週間前に規定人数に達していない場合、中止する場合がございます。

④簡単なアンケートや事前課題がある場合があります。その際は開催1週間前にメールにてご連絡致します。

経営戦略

※セミナーの日程は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。

JUAS seminar

1

ITサービス向上のためのシステム運用業務改善ワークショップ ～インシデント管理・問題管理編～

□標準プロセス・ルールの応用力、状況（So-What）分析スキル、真因（Why）分析スキルを磨きます。
□現行業務の改善点（QCD）とその対策を具体的にイメージできるようになることを目指します。

ファシリテーター：寺池 光弘氏
(株式会社CACエクシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員)

情報システムの複雑化によって、システム障害のもたらす影響は広く大きくなるとともに、障害原因の特定も難しくなっています。障害発生時には、サービスの中断時間を最小限に抑えて速やかに回復し、サービスの品質を維持することが重要ですが、運用の現場では、①適切な報告ができていない ②トラブル発生時に、影響範囲を適切に特定できない ③抜本的な解決策を導き出せていない、というような悩みを抱えている場合も多いのが現状です。

本セミナーでは、インシデント管理および問題管理に焦点をあて、「障害発生前の予防／抜本対策」「障害発生後の緊急対策・復旧対策」の観点から、現行業務の改善点（QCD）とその対策を具体的にイメージできるようになることを目指します。

事前課題を設定し、講義だけでなく、受講者参加型のグループディスカッション・振り返りを数多く取り入れ、受講者が主体的かつ実践的に取り組めるプログラムです。

■対象：日々運用業務に励む、実務経験5～10年目の業務システム担当者

■開催日時

2013年 8月7日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 20名

■会場 JUAS会議室 (東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

(1)はじめに(Why):受講目的(必要性)の再確認

(2)あるべきインシデント管理手順を考える

- ・インシデント管理とは？
- ・インシデント管理手順のケーススタディ①②
- ・「判別」フェーズのケーススタディ

(3)あるべき問題管理手順を考える

- ・問題管理とは？
- ・問題管理手順のケーススタディ
- ・「真因分析」フェーズのケーススタディ

(4)振り返り

- ・現場で意識的に実践するための行動変革計画

2

ITサービス向上のためのシステム運用業務改善シリーズ ～科学的管理手法による 攻めの運用サービス実現

- 改善活動の基本であるQCストーリーとQC7つ道具、新7つ道具を理解します。
- それらについて現場への適用イメージを持てるようにします。
- 改善活動に着手するためのアクションプランを作成できます。

講師: 寺池 光弘氏

(株式会社CACエクシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員)

システム運用の現場でヒヤリ・ハットが増加していませんか？

システム運用サービスの品質を維持・向上させるための基本は、改善活動です。改善活動が浸透していない現場(*1)では、人手による「力技」でトラブルをなんとか食い止めているところも、少なくありません。本セミナーでは、日本企業のお家芸である小集団活動に焦点をあて、「やらされ感」ではなく「自らのために自発的に」活動できるようボトムアップでの現場活性化を目指します。

そのための身近で具体的なツールとして、「QCストーリー」「QC7つ道具・新7つ道具」を活用し、科学的管理手法により業務改善力を高めます。

*1 システム運用の現場に小集団活動が浸透しない原因(仮説)若年層を中心に。。

- ・小集団活動の必要性を真に理解している人が減っている
- ・進め方(QCストーリー)を真に理解している人が減っている
- ・主要ツール(QC7つ道具、新7つ道具)を真に理解している人が減っている

■対象: 日々運用業務に励む、実務経験5～10年目の業務システム担当者

■開催日時

2013年10月16日(水)・30日(水)

※いずれも10:00-18:00

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 63,000円 一般: 79,800円

■定員 20名

■会場 JUAS会議室 (東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

1日目

(1)運用サービスとは？

(2)継続的なサービス改善

- ・ビジネス要求の確認
- ・サービス目標設定
- ・測定すべき指標(KPI)の定義
- ・測定可能な指標の定義
- ・データの収集
- ・データの処理・分析
- ・分析結果に基づいた改善策の検討
- ・改善策の実施

(3)上記の演習

(4)QCストーリー(前半)

- ・テーマ選定
- ・現状把握
- ・目標設定

(5)上記の演習

(6)職場実践課題の解説

2日目

(1)職場実践課題の発表&フィードバック

(2)QCストーリー(後半)

- ・要因の解析
- ・課題の明確化
- ・対策の立案
- ・最適策の追求
- ・方策の立案
- ・効果の確認
- ・歯止め
- ・反省と今後の計画

(3)上記の演習

(4)事例紹介

(※各回によって内容が変わります)

- ・サービスデスク
- ・アプリケーション運用
- ・システム基盤運用

(5)まとめ&振り返り

3

IT投資対効果とその評価方法 実践モデル構築体験講座

- 戦略的IT投資にも活用できる、IT投資対効果の評価方法を学びます
- 目的別IT投資に対する効果事例の分析も解説します

講師: 前橋 雅夫氏(前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役)

本セミナーでは、情報化投資の評価モデルを構築するノウハウについて学習していきます。

IT投資ポートフォリオ、IT-BSC(BSCのIT投資管理・評価への適用を中心に検討する手法)、SLM(サービス・レベル・マネジメント)等のメソッドの活用方法を、ケーススタディを通じて体験する事ができます。

また、各企業によりIT投資に対する目的は異なります。自社に適用できることを念頭に置き、IT投資プロジェクト事例をシステム導入の目的別に分析し、それぞれの状況に応じた導入のポイントについても講義します。

■対象:

ユーザー企業のIT部門責任者・企画担当者、利用部門責任者、経営企画部門責任者
中小企業診断士、ITコーディネータなどのコンサルタント、および資格取得を目指す方
プロジェクトマネージャー、システムアナリスト、セールスエンジニア

■開催日時

2013年 6月11日(火)・12日(水)

2013年12月12日(木)・13日(金)

※いずれも10:00-18:00

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 63,000円 一般: 79,800円

■定員 20名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

1 情報化投資の実態を確認する

- (1)情報化投資金額の実態
- (2)情報化投資評価の実態

【演習問題1】

IT投資とは何か？

2 情報化投資の費用を把握する

- (1)IT関連コストの内訳
- (2)TCO(総保有コスト)
- (3)IT投資ポートフォリオ

【演習問題2】

情報化投資ポートフォリオ構築

3 IT投資の効果を把握する

- (1)戦略型投資の評価
- (2)インフラ型投資の評価
- (3)改良型投資の評価

【演習問題3】

BSCによる戦略型投資評価

【演習問題4】

SLMIによるインフラ型投資評価

4 IT投資の評価モデルを構築する

- (1)評価モデルの構築手順
- (2)関連資料

まとめ

4

事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策

- システムトラブルが発生したときに、組織が被る損害の大きさを再確認することができます。
- システムトラブルの事例パターンから、対策を講じる際の重要ポイントを理解することができます。
- システムトラブルの原因と対策を追究するヒューマンファクター分析を体験することができます。

講師：前橋 雅夫氏(前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役)

本セミナーでは、情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、未然防止と再発防止の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をすべきか、その対策ポイントを学習します。システムトラブルの原因分析ならびに対策立案手法を、講師による解説、グループ演習等を通して理解することができます。

情報システム担当者は、日々「通常通り情報システムが動く」よう、検討と活動を重ねています。本セミナーは、更に高い信頼性を目指して、どのような取り組みをしていったらよいのか、過去の事例をJUASで分析・議論した内容をふまえたものです。

■対象：

プロジェクトマネージャー、システム品質管理責任者、システム開発チームリーダー、システム運用チームリーダー、ISMS導入担当者、内部監査担当者、ITコーディネーター

■開催日時

2013年 5月28日(火) 10:00-18:00

2013年11月15日(金) 10:00-18:00

■主な講義内容

第1部 今なぜシステムトラブルなのか

- (1) システムトラブル統計情報
- (2) 事件・事故の事例紹介
- (3) 事件・事故からの教訓

第2部 システムトラブルを未然に防止する

- (1) トラブル防止に向けた取り組み
- (2) 開発段階では何をすべきか
- (3) 運用段階では何をすべきか

演習問題1

非機能要件チェックリストの作成

第3部 システムトラブルの再発を防止する

- (1) システムトラブルデータベースの構築
- (2) ヒューマンファクター分析の応用

演習問題2

- 【事例1】サーバ設定ミスによるシステムトラブル
- 【事例2】プログラム変更によるシステムトラブル

第4部 まとめ

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 20名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

5

経営者・管理者が見るべき 経営管理レポート(管理帳票)の設計手法と見直しのポイント

～BIツール導入にあたって必須になる作業を紹介します～

講師：尾田 友志氏(マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表)

商品や製品と同様に、企業にも導入期・成長期・成熟期・衰退期といったサイクルがあります。成熟期に入った業界に所属する企業でありながら、システムの改修時に管理レポートの修正まで手が回らなかったため、導入期・成長期の管理指標を使い続けていることがあります。他方、会計基準の変更等により見るべき管理項目も変わってきました。今後はキャッシュフロー(フリーキャッシュフロー)がより重視されます。

本セミナーでは、経営視点からの管理帳票(経営管理レポート)の設計方法(管理項目や指標の設定)の基礎から見直しのポイントについて、講義と演習を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたって必須のものとなります。

■対象：管理帳票の設計を担当される方

■開催日時

2013年 6月28日(金) 10:00-17:00

2013年12月10日(火) 10:00-17:00

■主な講義内容

第1部 経営管理レポートの設計・見直しのステップ

- (1) Step-1: 自社のなりたい姿を明確にする
- (2) Step-2: 重要経営管理指標を定義する
- (3) Step-3: 指標の関連性を検討する
- (4) Step-4: 定型的管理指標を整備する
- (5) Step-5: レポートニング

第2部 経営管理指標(経営管理レポート)の設計(設定)手法

- (1) 財務の側面から経営管理指標を導き出す
- (2) 企業価値(売上方程式)の側面から経営管理指標を導き出す
- (3) 業界構造分析の側面から経営管理指標を導き出す
- (4) 業界ライフサイクルの側面から経営管理指標を導き出す
- (5) ABC/ABMの側面から経営管理指標を導き出す
- (6) 定性指標・その他の側面から経営管理指標を導き出す

第3部 経営管理指標の設定演習

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

6

業務コスト算出と見える化に優れた 「業務改善手法」の徹底研究

～ABC/ABMによる業務改善・IT投資効果分析の進め方～

講師：尾田 友志氏(マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表)

経営者がIT部門に期待していることの1つとして業務改善があります。内部統制・IFRSの導入に伴いその要請はますます強くなっています。業務改善には、ヒアリングにより現場の問題点を把握する方法、業務フローを基にムリ・ムダ・ムラを見つける方法など、いろいろな手法があります。

本セミナーで紹介するABC/ABMは①業務コストの算出、②付加価値業務・非付加価値業務の区分をすることが特徴です。業務の改善にあたっては、強制するのではなく、納得してすすめる必要があります。改善効果・改善根拠の見える化に優れた手法が、業務コストを明らかにするABC/ABMです。ABC/ABMは「活動基準原価計算」と訳され、原価計算方式の1つとして考えられていました。その後、ホワイトカラーの業務コストを算出して会社の管理コストを抑えるために大きな効果を発揮しました。この方法は様々な業務改善・プロセス改善や投資効果の評価にも利用できます。本セミナーでは、理論的な精緻さを追求するのではなく、持ち返ってご自身の会社で活用し、実務的な答えを出すことに重点をおいた、簡単な方法を紹介します。

■対象：業務改善に取り組む方

■開催日時

2013年 5月27日(月) 10:00-17:00

2013年11月12日(火) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

- 1 ABC/ABMの基本概念
- 2 ABCによる業務改善アプローチ
- 3 ABC/ABM導入のメリット
- 4 簡易ABC/ABMの進め方
- 5 内部統制で作成した業務プロセスチャートの活用
- 6 IT投資効果算定への活用

JUAS seminar

7

超上流工程、さらにその上の源流における 作業とドキュメント

～抽象的なレベルで課題を持ちかけられた場合、まず何をなすべきか
～あるべき姿を具体化し要件定義書・システム設計書につなぐまでの技法

講師：尾田 友志氏(マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表)

本セミナーは、ユーザー部門や顧客から経営課題あるいは抽象的なレベルでシステム化についての課題を持ちかけられたところからスタートします。最初に課題が正しいかどうかを検証し、あるべき姿についての仮説を立てて、ヒアリングなどにより検証します。最初の仮説立案から要件定義書・システム設計書につなぐまでの一連の作業内容を具体的に紹介します。

ご注意：

本セミナーの講義内容は、尾田講師の他のセミナー(ヒアリング、提案力・売り込み力強化のノウハウ)と重複している部分があります。

■開催日時

2013年7月29日(月) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

1. 源流・超上流工程とは
2. 経営各層にとつてのITの役割とは
3. 源流・超上流工程に取りかかる前に、会社で決めておきたいこと(本来は経営者が考えること)
4. 源流・超上流工程に臨むエンジニアの悩み
5. 最終成果物の確認
6. 源流・超上流工程のステップとステップチャート
7. 業務とシステムの全体像を描く
(「経営課題について仮説を立案する」に対応)
8. 経営者・管理者の視点から情報を補う
9. 要件定義書とシステム設計書作成につなぐ

JUAS seminar

8

ソフトウェア開発における レビュー技法とレビュー計画策定の視点 —品質確保レベルに応じたレビューのあり方—

講師: 木村 利昭氏

(株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 部長)

計画段階や設計段階においては、レビュー実施による内容の確認および品質評価を行うことが通例になっていると思います。しかし、レビュー自体の品質については、様々な評価ファクタで見ることが必要なため、一般的な考え方として公開されている内容は多くありません。本セミナーでは、これまで講師がPMOとして対応してきた経験を生かし、レビュー自体の品質向上の考え方・技法を説明していきます。併せて演習を交えることによって理解を深め、すぐに活用できるように研修していきます。

■対象: レビュー技法を体系的に学びたい方

■開催日時

2013年 5月9日(木) 10:00-18:00

2013年12月5日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

1 レビューの種類とレビュー計画作成

レビューは直訳すると「評価・批評」となります。その前提から、会議との違いは何か、レビューの進め方の留意点とは何かを説明します。また、各種設計段階や作業工程に応じて実施していくレビューの種類および特徴について説明するとともに、演習にてレビュー計画を作成します。

- (1) レビューとは
- (2) レビューの種類
- (3) レビュー計画

2 レビュー評価

レビューを行った結果をどのように評価していくか、講師の経験に基づく考え方や実施事例および効果などについて説明を行います。

- (1) レビューの評価の考え方(講師の経験から)
- (2) レビュー実施と評価の事例説明
- (3) 演習—レビュー評価の実施計画の作成
- (4) まとめ

JUAS seminar

9

保守・運用委託契約、クラウドサービス利用における 法的問題点とリスク管理のポイント

講師: 稲垣 隆一氏(稲垣隆一法律事務所 弁護士)

本セミナーは、コンピュータシステムの保守・運用の委託契約、クラウドサービスの利用における法的問題点と法的リスクを明らかにし、法的リスク管理のポイントを学ぶものです。

■対象: 基本法律用語を理解されている保守・運用のリーダー、マネージャー、システムの調達担当者

■開催日時

2013年6月10日(月) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1部 保守・運用の課題 何が起きているか・解決すべき課題は何か

- 1 意思決定の不足
- 2 人の問題
- 3 手順の問題
- 4 装置の問題

第2部 保守・運用のリスクマネジメント

- 1 目的をどう定めるか
- 2 リスク分析
- 3 対応方針の設定
- 4 対処方策の設定
- 5 監視
- 6 改善

第3部 契約のマネジメント 保守・運用の課題を契約に反映する

- 1 契約類型の選択
- 2 仕様・SLAをどう定めるか
- 3 債務履行の確保
- 4 請負契約の代金支払い時期の定め方
- 5 自動更新条項
- 6 責任の追及 損害賠償条項

第4部 クラウドサービス利用の課題と対応

- 1 クラウド利用の現状
- 2 クラウドサービス等の利用障害への対応

第5部 契約の方法に関する課題—電子契約の課題と対応

- 1 状況
- 2 課題
- 3 対応

10

IT投資(ソフト・ハード)の会計と税務

～自社利用ソフトウェアを中心とした日本基準・IFRS・税務基準についての解説～

講師: 片倉 正美氏 (新日本有限責任監査法人 第Ⅲ監査事業本部 MNC部 公認会計士パートナー)
林 一樹氏 (新日本有限責任監査法人 第Ⅱ監査事業本部 監査第7部 公認会計士 パートナー)

コンピュータのハードウェア、ソフトウェアへの投資であるIT投資は多額になっています。IT投資に対する正しい会計処理が実現されなければ、財務報告の信頼性を歪めることになります。税務・会計の知識は経理部門に求められるものであると一般的には認識されていますが、例えば、システムの開発を委託する際に著作権を含むすべての権利(使用・収益・処分・変更の権利)を取得するのがよいのか、使用権だけでよいのか、複製権も含むのかといった判断においては、税務・会計の知識が必要になります。

会計上は評価を下げなければ、適切な会計処理といえない場合であっても、税務では損金として認めないなど、近年は税務と会計の処理の違いが大きくなっています。

■開催日時

2013年6月27日(木) 13:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 21,000円 一般: 26,250円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1部 日本基準における自社利用ソフトウェアの会計処理

第2部 IFRSにおける自社利用ソフトウェアの会計処理

第3部 自社利用ソフトウェアの税務処理

第4部 ハードウェアを含むソフトウェアの会計処理

コンピュータソフトウェアに関する 著作権実務知識と法的リスク未然回避策

講師: 遠山 康氏(遠山康法律事務所 弁護士)

知的財産権を重視する社会的機運が高まっています。これに伴い著作権をめぐる紛争も増加しています。今まではゲームソフトに関する争いが中心でした。近年、業務アプリケーションソフトウェアを巡る争いも発生しています。WEBアプリケーションに代表されるように外部にシステムが公開されることが多くなっているため、侵害行為が発覚しやすくなっています。外部に委託して開発し、運用に入った途端いきなり警告文が送られてくるようなリスク発生の可能性が高くなっています。受託者としても納入したシステムについて、権利を侵害していると訴えられるリスクもあります。また、最近の業務システムは、Windowsなど他人のシステム(著作物)を利用することが一般的になっています。

そこで、コンピュータソフトウェア(仕様書・プログラム・処理手順・ユーザーインターフェース等)についての著作権の問題を網羅的に取り上げ法的基礎知識と法的リスクを習得し、併せて紛争を未然に防止するための具体的方法についてのセミナーを企画いたしました。

■開催日時

2013年5月29日(水) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1 著作権とは

- 1 著作権法の目的-著作物・著作者・著作権者の権利
- 2 著作者の権利

第2 プログラムと著作権

- 1 プログラムの著作物性と保護されるものの範囲
- 2 プログラム特有の規定

第3 プログラムと著作権侵害

- 1 使用 2 複製 3 翻案

第4 プログラムに関する著作権法上のリスク管理

- 1 自社開発 2 外部委託 3 契約文例

第5 紛争処理制度の概要

第6 プログラム関連発明と特許権

第7 これまでに寄せられた質問事項

システム運用サービス設計の実現方策、 設計マニュアル作成のポイントと事例の解説

講師：堀 秀雄氏(エイチ・アイ・ティ・コンサルティング 主任コンサルタント)

丹下 勉氏(NECフィールディング株式会社 経営システム部 シニアエキスパート)

運用サービスのあるべき姿や業務革新に向けた諸方策を明らかにすると共に、運用サービス設計の位置付けや具体的な設計方法を解説します。すなわちその考え方・背景、運用サービス設計のあり方等を解説すると共に、運用サービス設計マニュアルの構築方式と具体的なモデルを提示します。加えて、運用サービスの方式やその諸技術・標準のあり方なども解説します。

運用サービス設計マニュアルをどのように活用し、いかなる方式や制度・手続によって、どの開発工程でシステムに組み込んで行くのかも明らかにし、その組み込まれた運用サービス方式や運用サービスの関連技術等が、適正にシステム化されたかを、システムの受入審査制度によって評価する仕組みを解説します。

なお、ITIL®についての解説は行いませんが、ITIL®での位置付けや、本セミナーの内容がITIL®の考え方に準拠しているかをチェックしながら、間違った方向になっていないかを検証します。

■開催日時

2013年5月30日(木) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1部 これからの運用サービスのあるべき姿と運用サービス設計

1. 運用サービスの定義、運用サービスへの想い、運用サービスを取り巻く環境と特徴
2. 運用サービスに関わる組織とその役割分担・責任分担
3. 運用サービス設計とは何か
4. 運用サービス設計の変遷
5. 運用サービス設計の背景
6. 運用サービス設計の具体化
7. システム受入審査制度の確立と実行
8. 運用サービス設計の実践方策
9. 運用サービス設計をバックアップする関連事項
10. 運用サービス設計の不備で生じたシステムリリース時の大混乱(ケーススタディ)

第2部 運用サービス設計マニュアルの構築方式と記述モデルの解説 (マニュアル150頁は電子データで提供)

JUAS seminar

13

運用サービス要員の資質・スキルの向上、モチベーションアップのための仕掛け・仕組みと行動様式を考える

モチベーションアップのための仕掛け・仕組みと行動姿勢の診断チェックシートの公開

講師：堀 秀雄氏(エイチ・アイ・ティ・コンサルティング 主任コンサルタント)

丹下 勉氏(NECフィールディング株式会社 経営システム部 シニアエキスパート)

運用サービスの世界は、業務内容において、二つの相反する側面を有する特殊な環境にあります。すなわち、激しい技術革新の中で、常にサービスの高度化を求められる一方、地味で泥臭い仕事を、安定かつ効率よく365日24時間、絶え間なくサービスし続けなければならないという現実です。

この特殊な環境の中で、二つの側面をバランスよく実行できる資質やスキルを育成することが重要です。本セミナーは、運用サービスの高度化を追求するためのスキルをどのように育成し、日常業務に埋没しやすい環境に負けない資質や、高いモチベーションを持続するための方策等について解説します。

■開催日時

2013年9月19日(木) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

10:00—13:00 堀 秀雄氏

(1)運用サービスとは何か

(2)運用サービスを取り巻く環境と業務遂行上の特徴

(3)運用サービス・スタッフが必要とする資質・スキルとその向上方策

(お昼休み 13:00—14:00)

14:00—17:00 丹下 勉氏

(5)運用サービスの高度化に対応したスキルアップの在り方

～運用サービスの高度化に対する導入方策と必要スキルについて検討する～

(6)モチベーションアップのための日頃の行動様式と諸挑戦

JUAS seminar

14

新人・配転者にもおススメ！ イチから始めるシステム運用

□講義・実習・討議を通じてアドバイスを受けながら学びます。

□システム運用に現場で発生するさまざまな課題や問題など、実際のビジネスシーンを想定したシミュレーション実習を行ないます。

講師：藤原 達哉氏(株式会社ビーエスピーソリューションズ 取締役 SMO推進部 部長)

企業におけるIT推進は社内業務の効率化のためだけではなく、企業のビジネス競争や顧客獲得のためにも重要な位置付けにあります。特に情報システムを支えるシステム運用については、社会的影響の大きさによっては、企業存続に影響を与える事にもなり得ます。

本セミナーでは、システムの運用設計・運用(実行)・運用管理のフェーズに分け、「技術」と「仕事」の両側面から知識を得ます。

＜目的(ねらい)＞

1. システム運用の目的を理解し、企業経営との関わりを理解する。
2. システム運用の役割と機能を体系的に理解し、品質の向上と生産性の高い行動ができる能力を強化する。
3. 仕事に必要な対人関係能力を啓発する。

■開催日時

2013年10月29日(火) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円／一般:39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1部 ビジネスに貢献するITサービス

1. 企業と情報システム
2. システム運用の価値
3. システム運用の業務
4. システム運用の作業分類
5. システム・サービスの評価
6. システム運用の関連知識

第2部 システム運用の技術

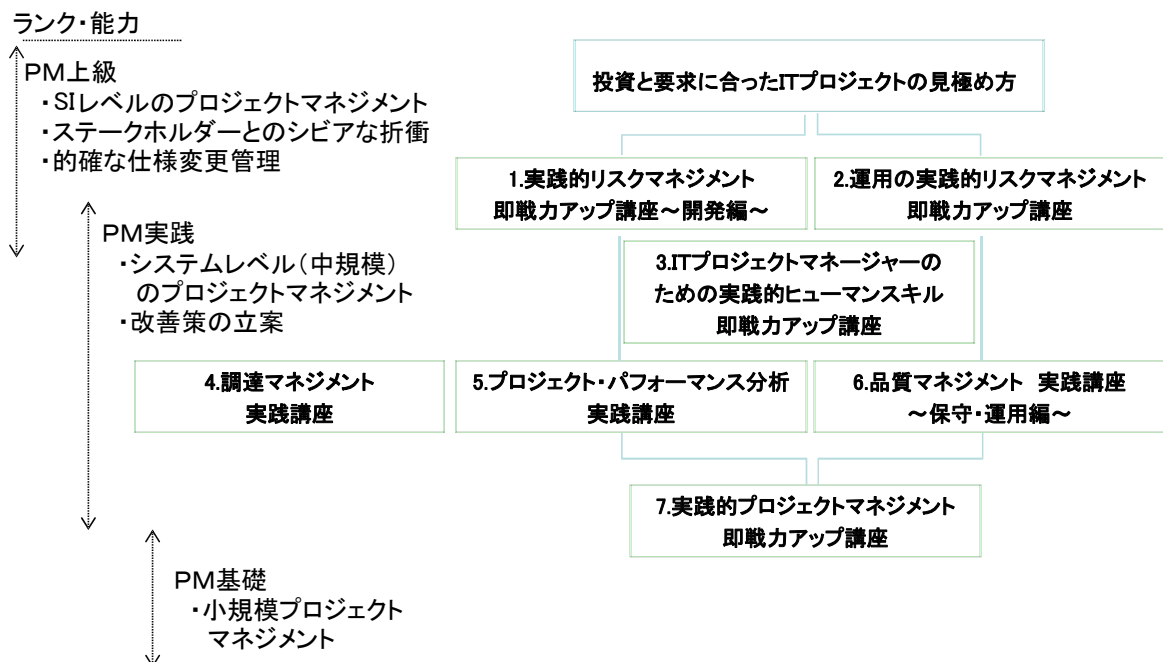
1. システム運用の歴史と技術動向
2. システム運用設計の技術
3. システム運用の技術
4. ITSMツール
5. 運用管理の技術

スキルトレーニング

※セミナーの日程は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。

PMセミナー 各コースの位置づけ

JUAS セミナー関連図



1.実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編～

- リスクマネジメントを行う際に必要なリスク識別、リスク分析を中心に即活用できる具体的なノウハウを伝授します。
- モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義します。

講師：中谷 英雄氏(株式会社ピーエム・アライメント取締役 ビジネスコンサルティング部長)

プロジェクト成功の鍵は問題が表面化する前に、プロジェクト計画段階でリスク要因を抽出・分析し対策を施すこと。
リスクに気づく力、読み出す力を学びます。

本セミナーは、「実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～見積・提案編」のステップアップコースとして、プロジェクト成功のための一つの鍵になる「リスク管理」にターゲットをあてたコースです。

プロジェクトマネジメントには、リスクが現実化して計画との差異が生じた時に、如何に的確に対処するが関係しています。本セミナーでは特にリスク管理にターゲットを絞り、「プロジェクト計画段階でのリスクマネジメント計画」、「リスク識別」、「定性的・定量的リスク分析」、「リスクの監視コントロール」などについて講師の豊富な経験に基づく講義と、具体的なケーススタディを通してリスク管理の重要性について理解を深めていきます。

■前提条件:「実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座」受講済み、もしくは、プロジェクトマネージャーの経験がある方

■対象: プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーを支援する上位管理者

■開催日時

2013年 10月10日(木)・11日(金)

2014年 2月27日(木)・28日(金)

※いずれも10:00-18:00

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:63,000円 一般:79,800円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

1 リスクマネジメントの概要

2 リスクマネジメント計画

(講義、事例の解説)

3 リスク識別(講義、個人演習)

4 定性的リスク分析

(講義、個人演習)

5 定量的リスク分析

(講義、個人演習)

ケーススタディ1:要件定義完了時
失敗事例を通じて、ロジックツリー技法で原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率を導く方法を身につける

6 リスク対応計画

(講義、個人演習)

7 リスク監視とコントロール(講義)

8 リスクとリスクマネジメントの具

体的な事例(講義)

ケーススタディ2:基本設計完了時
失敗事例を通じて、チェックリストを活用して、原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率、対策を導く方法を身につける

PDU取得修了書発行14時間14PDU

19

2.運用の実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座

運用設計段階でのリスク分析・特定の仕方(ITIL®V3やPMBOK®なども参考にします)から、作業段階で現場が行うべき、確実性向上のためのリスク管理までをケーススタディを通して学びます。

講師：中谷 英雄氏(株式会社ピーエム・アライメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長)

情報システムを開発するより、運用する期間の方が平均17年(JUAS動向調査)と圧倒的に長くなっている今、そのリスクも多岐にわたり、リスクマネジメントの重要性はますます高まっています。

運用リスクマネジメントの成功の鍵は、まず設計の検討段階でリスク要因を「可視化」して共有できる環境を作り、どこまで取り組むべきかのコストバランスにあった対策を施すことにあります。そのためには継続のための横断的な組織、リスクが発生しやすい環境の見極め、運用作業段階での確実性を高めるリスク管理などが不可欠です。運用リスクマネジメントではリスクの発生確率と、その影響に伴う損失を最小化し、顧客の満足度、企業価値を向上させる必要もあります。

運用のリスク管理成功の鍵は、

①運用設計の検討段階でのリスク要因を可視化&コストバランスに合った対策を施すこと

②運用作業の確実性向上

運用設計段階でのリスク分析、対策の仕方から、運用作業段階での確実性向上に即活用できる具体的なノウハウを、講義とモデルケースを通して伝授します。

数多くのリスクマネジメントを手がけた講師が、運用段階における失敗・成功事例と共に、即活用できるポイントもご紹介致します。

■対象: 運用管理者、担当者、プロジェクトマネージャー、情報システム部門管理者、運用委託先ベンダー管理者など

■開催日時

2013年5月21日(火) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

第1章 ITサービス・リスクマネジメントの重要性

第2章 リスクマネジメントのプロセス

第3章 運用作業で留意する不確実性を読み解く

第4章 ITサービス・リスクマネジメントの各社の取り組み

ケーススタディ:(グループ演習)
問題山積のITサービス業務の事例から学ぶ
人材管理システムの顧客満足度の低下、ITサービス担当者の不満、トラブル増加のITサービス事例を取り上げ、グループ討議を通じて、リスク事象、リスク原因、対策を発表いただき、新しい気づきを得て、感覚・センスを磨き、実務に応用していただきます。

PDU取得修了書発行7時間7PDU

20

3. ITプロジェクトマネージャーのための実践的ヒューマンスキル即戦力アップ講座

～ ITプロマネのあなたに必要なヒューマンスキルを把握し、スキルアップのノウハウを取得！～

- (1) ITプロジェクト・マネージャーの成功条件を習得する。(2) スキル診断(実習)により、強み・弱みを定量的に把握する。
(3) ヒューマンスキルを向上する実践アプローチを習得する。

講師: 佐藤 義男氏 (株式会社ピーエム・アライメント 代表取締役社長)

今、イノベーション、グローバル化、経済環境、クラウドなど、さまざまな環境の変化により事業も変わり、組織や人の流動化が激しくなっており、そのような環境のもとでITプロジェクトを成功に導くためには、マネージャーの技術スキル、業務知識だけでなく、ヒューマンスキルが非常に重要になってきます。

JUASのIT企業動向調査や他団体のさまざまな調査結果からも明らかですが、優秀なプロジェクト・マネージャーになるためにはより一層ヒューマンスキルを磨くことが求められています。

本セミナーではITプロジェクトマネージャーにとって特に必要とされるヒューマンスキルを把握(スキル診断)し、スキルアップするための実践的なアプローチとノウハウを取得できます。プロジェクトを成功へ導くマネージャーのヒューマンスキル(人間関係スキルと行動特性)を、事例や演習を併せて学べます。豊富なプロジェクト経験をもつ講師が、日本における「成功するITプロジェクト・マネージャー像」の研究成果、JUASの研究成果(5W4H)などをわかりやすく解説します。

■対象: プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーを目指している方、情報システム部門の方

■開催日時

2013年8月22日(木) 10:00-18:00

2014年2月6日(木) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

- 1 ITプロジェクト・マネージャーの成功条件
- 2 優秀なプロジェクト・マネージャーのコンピテンシー
- 3 PMコンピテンシー診断
- 4 PMコンピテンシー向上アプローチ
- 5 プロジェクトにおけるリーダーシップ
- 6 プロジェクトにおける問題解決力
- 7 プロジェクトにおけるチーム形成
- 8 プロジェクトにおける達成と行動
- 9 プロジェクトにおけるコミュニケーション

PDU取得修了書発行7時間 7PDU

21

4. 調達マネジメント実践講座

- ケーススタディを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。
- 多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

講師: 佐藤 義男氏 (株式会社ピーエム・アライメント 代表取締役社長)

プロジェクトを成功に導くためには、発注者が明確な発注仕様を提示することが必要です。さらにベンダー管理についての意識と、マネジメント技術を体得する必要があります。一方、UISS(情報システムユーザースキル標準)でも、ITベンダー企業への発注時に必要なスキルとして「調達と調達マネジメント」が定義されています。今回のゴールは以下のとおりです。

- (1) PMBOK® ガイド準拠の調達マネジメント・アプローチを習得する。
- (2) RFP作成のポイントを習得できる。
- (3) システム開発において考慮すべきITベンダー管理のポイントを学ぶ。
- (4) トラブル事例により、問題点の整理と対策のポイントを習得できる。

■対象: プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャーを目指している方、発注担当の方

■開催日時

2013年12月18日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

- 1 調達マネジメントの位置付け
- 2 ソフトウェア請負業務の実際例
- 3 発注者に求められるスキルとは
- 4 調達計画
- 5 調達実行
- 6 調達管理
- 7 調達終結
- 8 ITベンダー管理におけるリスク
- 9 ケーススタディ(ITベンダー管理トラブル)

PDU取得修了書発行7時間 7PDU

22

5.プロジェクト・パフォーマンス分析実践講座

- ユーザー満足度をどのように高めるかを考察し、ユーザー満足度とコスト、品質納期の関係を明確にします
- 意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、意思決定方法を習得します。

講師：中谷 英雄氏(株式会社ピーエム・アラインメント取締役 ビジネスコンサルティング部長)

「毎回異なるプロジェクトの独自性を考慮し、プロジェクト測定ニーズを捕まえ、プロジェクト目標を達成する」ためには、どのような管理指標を選定し、測定すれば良いのでしょうか。また実現可能性の評価とプロジェクト開始後のパフォーマンス分析はどのように行えば良いのか、今、管理者にはその定量化の実践的活用方法が求められています。

本セミナーでは、①事実に基づく測定の重要性について理解を深め、ユーザー満足度を高めるにはどうすれば良いのかを考察し、ユーザー満足度と、コスト、品質納期の関係を明確にしていきます。②プロジェクトの管理者に求められる、客観的なコミュニケーションと情報に基づく意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、トレード・オフの考え方、意思決定方法を習得します。③具体的なケーススタディを通して測定の重要性、客観的事実に基づいた意思決定の重要性について理解を深めていきます。④プロジェクト・パフォーマンス測定・分析の主要テーマの測定ポイントを理解します。⑤実践的な可視化の仕組み作りについて事例研究を行います。

■対象：プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャーを目指している方、PMOの方
(ソフトウェア・システム開発のパフォーマンス分析を中心にを行います)

■開催日時

2013年 9月11日(水) 10:00-18:00
2013年12月 9日(月) 10:00-18:00
2014年 3月 5日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

PDU取得修了書発行 7時間 7PDU

第1章 パフォーマンス測定・分析の重要性	第3章 ソフトウェア開発プロジェクトにおける主要10リスクテーマの測定・分析のポイント
1. 1 今日の環境	3. 1 スケジュールの遅れ
2. 2 なぜ測定が重要か	3. 2 コストの超過
1. 3 プロジェクトレベルでの測定目的	3. 3 除々に増大するユーザー要求
1. 4 ソフトウェア測定の重要な概念	3. 4 低品質
1. 5 測定の原則	3. 5 低生産性
第2章 パフォーマンス測定・分析の手順	3. 6 不適切なパッケージの要求事項評価
2. 1 測定計画の作成	3. 7 低い顧客満足度
2. 2 実現可能性の分析	3. 8 応答時間の遅延
2. 3 実績の分析	3. 9 性急な改善計画
演習	3. 10 弱体な組織

23

6.品質マネジメント実践講座～保守・運用編～

システム保守部門における品質マネジメントの成功の鍵はコスト、スケジュール、品質、作業範囲の目標間の関係を柔軟にトレードオフし、意思決定を行うこと。

講師：中谷 英雄氏(株式会社ピーエム・アラインメント取締役 ビジネスコンサルティング部長)

現在システム保守・運用の分野では、時代の変化に伴い新たな課題が発生しています。システム保守では、高品質な保守をいかに早く、安くするかという方法論と、高度な保守技術者の必要性が課題とされ、システム運用では、ジョブ管理中心のオペレーション要員確保からオープン化に伴う機器構成変更、OSのバージョンアップ、パッチ対策、ミドルウェア、ウイルス対策など広範囲な技術力とマネジメント力を持った運用力の確保が重要となってきています。しかし、信頼性・安定稼働を求めて、過剰な要員確保や、品質保証活動といった作業負担をかけることは現実的ではありません。ユーザーが求めるサービスレベルを明確にし、その目標を達成するためのトレードオフを柔軟に行うことが要求されます。

本セミナーでは、①ユーザー満足度を高めるにはどうすれば良いのかを考察し、ユーザー満足度と、コスト、品質納期の関係を明確にしていきます。②サービスマネジメント組織の管理者が、客観的なコミュニケーションと情報に基づく意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、意思決定方法を習得します。具体的なケーススタディを通して、「測定の重要性」「客観的事実に基づいた意思決定の重要性」について理解を深めていきます。

■対象：現在サービスマネージャーとして活躍されている方、保守・運用部門の管理担当者として活躍される方

■開催日時

2013年 8月5日(月)10:00-18:00
2013年 12月4日(水)10:00-18:00
2014年 3月19日(水)10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

PDU取得修了書発行 7時間 7PDU

第1章 ITの動向変化	第3章 測定の重要性
1. 1 JUAS統計「第17回企業IT動向調査 2011(10年度調査)」から「ユーザー企業の現状と課題」を探る	3. 1 ビジョン、ミッション、戦略、サービスの価値連鎖体系
1. 2 ITSMF JAPANコンファレンス2011から「ITサービスの動向変化」を探る	3. 2 価値連鎖方法の具体事例
1. 3 サービスとは？いままぜサービスかを考察する／意見交換	3. 3 企業におけるサービス価値の体系化
第2章 サービスライフサイクルマネジメント	3. 4 保守・運用(サービスレベル)の測定計画の準備 / 演習1
2. 1 ライフサイクルマネジメントの要請	3. 5 保守・運用(サービスレベル)で主要な指標と業務プロセスへの統合演習2
2. 2 ライフサイクルにおける品質・コスト・ベネフィットの関係	第4章 サービス実績報告
2. 3 ライフサイクルにおけるリスク・顧客満足度の関係／意見交換	4. 1 組織管理者は何を知る必要があるか
	4. 2 提言の作成
	4. 3 報告の頻度 / 演習3

24

7.実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座

～提案・見積・PM強化編～

- プロジェクトマネジメントを行う際に必要である人間的な要素（ヒューマンスキル）を中心に、即活用できる具体的なノウハウを伝授します。
- モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義します。

講師：佐藤 義男氏(株式会社ピーエム・アライメント 代表取締役社長)

効果的なプロジェクトマネジメントの推進は、「提案と見積をどう判断し、評価するか」が鍵を握っています！

本セミナーでは、プロジェクトを成功に導くための各段階における的確な提案評価と見積評価のポイントを、ケーススタディを通して身につけます。また、プロジェクトマネージャーが管理面で留意すべきポイント(実績報告、問題管理、変更管理、コミュニケーション管理、品質管理等)について演習を通して理解を深めていきます。

PMBOK®などの標準に基づく形式だったプロジェクトマネジメントにこだわらず、具体的、かつ実践的な即使えるノウハウを中心に、グループ演習でモデルケースを利用し実施いたします。また、数多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介いたします。

■対象：プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャーを目指している方

■開催日時

2013年 6月13日(木)・14日(金)

2014年 3月10日(月)・11日(火)

※いずれも10:00-18:00

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:63,000円 一般:79,800円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

オリエンテーション

1 イントロダクション

- ・プロジェクトマネジメントの必要性
- ・プロジェクトにおけるリスクの存在

2 ITプロジェクトにおけるマネジメント実務レベルへの落とし込み

- (1)IT業界におけるプロジェクトマネジメントのトレンド
- (2)ITプロジェクトが失敗する原因
- (3)ITプロジェクトの特徴と必要スキル
- (4)提案・見積実践
- (5)適正なプロジェクト計画の策定
- (6)実行管理のポイント
- (7)プロジェクトマネジメント成功の条件

3 プロジェクトマネジメントの手法・技法を事例を通じてグループ演習と発表でシミュレーション

- (1)情報システム構築プロジェクトのRFPと見積事例から学ぶ(演習)ヒアリング実施から工数・価格見積、実施体制、開発日程を含む提案書を作成
- (2)失敗プロジェクトの事例から学ぶ(演習)EDIシステム構築プロジェクトの失敗事例を取り上げ、グループ討議

PDU取得修了書発行 14時間14PDU

25

大好評！清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座

～USDMの活用とユーザーとベンダーの協同作業が重要～

USDM (Universal Specification Describing Manner) の具体的な表記法を演習中心で学びます。

講師：清水 吉男氏(株式会社システムクリエイツ 代表取締役)

プロジェクトの成功の秘訣は、要求定義書の明確化にあります。しかし「何をどのように書けば良いのか」を具体的に記述したガイドはほとんどありません。ユーザー自らが「要求」を確認し、「仕様」として全てを表現していく必要がありますが、もし書ききれない場合は、パートナーとなるベンダー企業と協同して「仕様が漏れない要求仕様」が書くことで、プロジェクトを成功させることができます。

その際ポイントになるのが仕様の変更管理です。もちろん変更がないのがベストですが、人間が考え出すことに要求が増えていくことは自然な成り行きともいえます。仕様が変わる・増える場合の管理がきちりできて、お互いの成果に反映できれば、問題を防ぐことができます。

本セミナーでは、ご好評をいただいているこのシリーズ「仕様が漏れない要求仕様」を書く際の注意点、要求を仕様化する際の考え方、整理すべき点、注意すべき点などを中心に講義をすすめます。多数の成功プロジェクトの経験者として有名な清水氏の事例も交え、具体的、かつ実践的なノウハウを中心に提供します。

一般的な「要求仕様書の書き方」講座とは一線を画す充実のセミナーに、ぜひご参加ください。

■対象：ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャー

■開催日時

2013年5月9日(木) 10:00-17:30

2013年11月29日(金) 10:00-17:30

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員:40名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

第1章 なぜ、仕様が漏れるのか

第2章 USDMの特徴

第3章 要求を表現する(演習)

第4章 要求を仕様化する(演習)

(事例紹介)

第5章 画面仕様にもUSDMを適用する

第6章 作り方の品質要求の扱い

第7章 要件管理プロセス

〈USDMの特徴〉

- ①「必要機能、必要十分要件を記述する際には、機能仕様、機能要件に加えて理由(さらに必要ならば説明)を必ずつける。このことによりなぜこの方法が必要になるのかがより一層明確になる。
- ②要求機能が要件定義にどのように展開されたのかが、系統的にフォローでき、開発だけでなく保守作業にも引き続き活用できるので、機能のTraceabilityが確保できる。
- ③このUSDM方式は、EXCELを活用して機能、非機能を詳細に定義できるので、従来のベンダーも出来なかった仕様変更回数などが簡単にカウントでき仕様変更率のマネジメントが可能になる。
- ④IEEE830に提唱されている開発ドキュメント方式も、この方式に近似しており、国際的にも通用しやすい。

26

清水吉男の保守・改良（派生開発）にマッチした仕様変更管理と書き方講座

～USDMの活用と派生開発ならではのアプローチが重要～

「派生開発」にマッチした仕様変更の管理や仕様の書き方、プロセスのノウハウを丁寧に解説していきます。

講師：清水 吉男氏（株式会社システムクリエイツ 代表取締役）

企業経営にとってシステムの利活用が当たり前の昨今、全くの新規開発より既存システムを一部流用した「保守開発」が増えています。既にあるシステムを改良・訂正・機能追加する保守作業こそ、企業の競争力の源泉となっており、現在保守開発は下記のような状況にあります。

- ①保守には、タイプがいろいろある。（是正保守、予防保守、緊急保守、適応保守、完全化保守、改良保守）
- ②タイプが色々あるにも関わらず、新規開発プロセスを真似たアプローチを行なっている。
- ③既存システムの活用により、社会環境の変化に対応した、新しい製品を生み出せる可能性がある。

このような状況で「保守開発」を行なっているため、システムトラブルも多発しています。そこで、この状況を打破すべく清水氏が理論と実践をもって確立されたのが「XDDPという派生開発プロセス」です。

この「派生開発」における仕様の書き方として、必須になってくるのがUSDM方式ですがUSDMについては、「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座」の項をご参照ください。

■対象：ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム保守開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャーなど

■受講条件：JUASセミナー「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様書の書き方講座」を受講した方、

もしくは『要求を仕様化する技術、表現する技術（技術評論社）』を読んだ方

■開催日時

2013年6月11日(火) 10:00-17:30

2014年1月21日(火) 10:00-17:30

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員：40名

■会場 JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

JUAS seminar

■主な講義内容

第1章：保守開発との違い

第2章：派生開発の現状

第3章：派生開発の特徴

第4章：XDDPによる派生開発(演習)

第5章：XDDPにおける品質要求

第6章：XDDPにおける要件管理

第7章：XDDPを適用することの効果

第8章：取組み時の注意

第9章：XDDPの成功事例

〈派生開発とは〉

「社会や環境の変化に対応するために既存システムへの機能の追加・削除・仕様変更によって新たな製品を生み出したり、業務プロセスを改善する、既存のソースコードの一部を流用しながら新規開発を行うこと」を意味します。この「派生開発」の要求にマッチしたプロセスの導入を、さまざまなプロジェクトにて実践し、プロジェクトを成功に導き、開発手法を確立してきました。

27

清水吉男の抜けの無い仕様を書けるUSDM表記法マスター講座

USDM表記法を清水氏の直接指導を受け2日間で完全マスター

講師：清水 吉男氏（株式会社システムクリエイツ 代表取締役）

皆様よりご要望の高かった、USDM表記法を習得するじっくり演習のみのコースです。目まぐるしく変化するビジネス環境の下で、経営陣の要求を満足させるには、漏れの無い、保守作業や変更管理の際にも誰もが読みやすく、理解しやすい仕様書を作成しなければなりません。それを実現できるのがUSDMであり、実際にUSDMを考案した清水氏が数々のプロジェクトを成功に導きそれを証明してきました。組織、個人の両サイドで 技術力・プロジェクトマネジメント力アップをはかり、企業として全体のIT力を高めることを可能にするセミナーです。

■対象：ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム保守開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャーなど

■受講条件：JUASセミナー「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様書の書き方講座」を受講した方、

もしくは『要求を仕様化する技術、表現する技術（技術評論社）』を読んだ方

■USDMの特徴

- ①「必要機能、必要十分要件を記述する際には、機能仕様、機能要件に加えて理由（さらに必要ならば説明）を必ずつける。このことによりなぜこの方法が必要になるのかが一層明確になる。
- ②要求機能が要件定義にどのように展開されたのか、系統的にフォローでき、開発だけでなく保守作業にも引き続き活用できるので、機能のTraceabilityが確保できる。
- ③このUSDM方式は、EXCELを活用して機能、非機能を詳細に定義できるので、従来どのベンダーも出来なかった仕様変更回数などが簡単にカウントでき仕様変更率のマネジメントが可能になる。
- ④IEEE830に提唱されている開発ドキュメント方式も、この方式に近似しており、国際的にも通用しやすい。

■開催日時

2013年10月3日(木)・4日(金)

※いずれも10:00-17:00

1日目講座終了後、18時まで、「講師との質疑応答／意見交換会」あり（希望者のみ）

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:63,000円 一般:79,800円

■定員：16名

■会場 JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

JUAS seminar

1日目

【午前】

- ・2日間のプログラムの説明とチームメンバーの自己紹介
- ・USDMの復習(講義)

【午後】

- ・図書管理システムの概要説明
- ・今回の課題の説明と取り組み方の説明
- ・チームメンバーで課題の選定と顧客要望から「要求」への展開
- 【夕方】
- ・意見交換会

2日目

【午前】

- ・「要求」の記述(階層化を含む)への取り組み(昨日の続き)
- ・各チームの「要求」の発表と評価

【午後】

- ・午前の評価に伴う「要求」の調整と「仕様化」の取り組み
- ・各チームで抽出した「仕様」の中間発表
- ・「仕様」のブラッシュアップを経て各チームの最終案を発表
- ・2日間の振り返り(反省会)

28

ソフトウェア文章化作法 初級 若手向け

相手に伝わる正確な文章を書くためのポイントと考え方の基礎を学びます

講師: 上田 志雄氏 (株式会社ティージー情報ネットワーク 基盤戦略推進部
アプリ基盤グループ シニアプロジェクトマネージャ)

情報システム構築において、無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。

しかし、日本語には、主語が明確でなくても何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表すあいまいな表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文書においては、具体性がなく曖昧な表現がトラブルの元になります。ソフトウェア文書において一番大事なことは、自分の希望・意思を相手に間違いなく伝えることです。

そのためにはどのように記述すればよいのか、日本語の基礎を見直し、日本語の特徴を把握して、ソフトウェア文章を明快地に記述する「作法」を演習で実体験していただきながら習得するコースです。

■対象: IS部門・企画部門・SI企業等で仕様書・提案書をご担当の方

■開催日時

2013年 6月27日(木)・28日(金)

※いずれも 10:00-18:00

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 63,000円 一般: 79,800円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

<1日目>

- 1 オリエンテーション
- 2 文章力確認
 - ・日本語について
 - ・語彙力確認
- 3 日本語の特徴
 - ・品詞の並べ方
 - ・句の並べ方
 - ・助詞の使い方
- 4 日本語の特徴
- 5 紛らわしい文章
- 6 文章力向上の基礎
 - ・発想力

<2日目>

- 7 縮約による文章
 - ・縮約
 - ・要約
- 8 文書作成の基本
- 9 ビジネス文書の作成
- 10 システム企画書
 - ・状況説明
 - ・実習
 - ・成果発表
 - ・クイズ

29

部下を持つ管理者必修 ソフトウェア文章化作法 中堅管理者向け

部下が作った提案書、仕様書を、正確に伝わる文章に修正、改善することが出来ますか？

講師: 福田 修氏(テクノロジー・オブ・アジア株式会社 代表取締役)

情報システム構築において無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。

しかし、日本語には主語が明確でなくても、何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表す曖昧な表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文章においては、こうした具体性に欠けた表現がトラブルの元になります。

JUASではソフトウェア文章における日本語のあり方について、約2年間議論を重ね、『SEを極める仕事に役立つ文章作成術』(日経コンピュータ出版 (社)日本情報システム・ユーザー協会/福田修 編)を出版しました。「ソフトウェア文章化作法」講座では、この書籍の重要ポイントを演習を通して習得するとともに、講師の日本語・ソフトウェア文章における知見、仕事の進め方などを伝授します。

さらに「中堅管理者向け」コースでは、部下の指導をされる方のために、提出された文章を正しく修正・改善するための指導法についても習得していきます。

■対象: IS部門、企画部門、SI企業の部下のいる管理職の方

■開催日時

2013年6月6日(木)・7日(金)

2013年11月7日(木)・8日(金)

※いずれも10:00-18:00

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 63,000円 一般: 79,800円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

<1日目>

1. セミナーの目的とねらい
2. 日本語とはどのような言語か
3. 部下指導の心構えと方法
4. 日本語力棚卸
5. 日本語文法
6. 文章作成の基礎

<2日目>

1. 縮約による文章力向上
2. 報告書の作成
3. 技術文章の書き方
4. システム分析
5. まとめ

30

プロジェクトにおける品質管理計画の立て方 ～品質目標の策定と計画書のあり方～

講師：木村 利昭氏

(株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 部長)

プロジェクトは「唯一無二」という特性を持っています。そのため、プロジェクト管理計画書は、プロジェクト目的などの特性を考えて整備していく必要があります。それは品質管理計画書においても同様です。品質管理計画書は、過去のプロジェクトの実績を参考にして作成されたり、企業・組織における規則やテンプレートなどを参考にして作成されるケースが目立ちます。そのようなやり方だけで作成した品質管理計画書は、重要要素が見逃されたり、形式的な品質評価・確認を行ってしまうことにつながりかねません。

また、ソフトウェアの品質というと、すぐに「ソフトウェアに欠陥(バグ)がないこと」と考えるケースも目立ちます。それは確かに重要な一面ですが、良い品質のソフトウェアは「欠陥を取り除くこと」だけで実現できるものではありません。もっと幅の広い、いろいろな要素がソフトウェアの品質にかかわりを持ち、それを実現するためにいろいろな活動が必要になります。

本セミナーでは、プロジェクト目的と品質管理計画の関係について説明を行いながら、品質管理計画に必要な要素と考え方を説明します。さらに、品質管理計画書の構成と勘所・ポイントについて演習を交えながら説明します。

■開催日時

2013年7月4日(木) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

- 1 プロジェクト特性とプロジェクト管理計画
 - ①プロジェクト特性とプロジェクト管理計画の関連
 - ②品質管理計画におけるプロジェクト特性の考え方
- 2 品質管理計画の考え方
 - ①品質管理計画はプロジェクト開始時稼働させる
 - ②規則・ルール化や判定・評価は、品質管理計画の末端である
- 3 品質管理計画の要素
 - ①プロジェクトの目的
 - ②プロセス品質
 - ③プロダクト品質
 - ④評価とフィードバック
- 4 品質管理計画作成の勘所
 - ①品質管理計画作成の勘所(事例と考え方)
 - ②品質管理計画書作成(演習)

31

情報シス部門のためのファイリング研究 ～文書不祥事に伴うリスクを未然防止するための文書管理ルール策定セミナー

講師:石島 正勝氏(社団法人日本経営協会 チーフコンサルタント)

仕事に必要な文書を、必要なときにすぐに取り出して活用するためのファイリングシステムは、すべての職場において生産性を上げるために欠かせない手段であるばかりでなく、内部統制対応や契約トラブルなど訴訟対応をスムーズに進める上でも欠かせない仕組みです。企業として、適正なファイリングシステムを実践することは、ドキュメントの電子化が進んだ今日において、ますますその重要性が認識されています。本セミナーでは、ファイリングの基礎から文書管理全体に及ぶポイントの講義に加え、各管理プロセスでどのようなことをルール化し、徹底していくかについて具体的なかつ実践的に解説していきます。

※本セミナーは、参加者の声を反映し、従来の「リスク管理のための文書管理研究」の名称を改訂したものです。

■開催日時

2013年5月23日(木) 10:00-17:00

2014年1月22日(水) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

- 第1部 ファイリングシステムの基礎知識と、ファイリングが不備なためにおこる具体的企業リスク
 - 1 ファイル管理の基本技法～アナログ管理技法からデジタル管理技法への応用
 - 2 整理整頓からライフサイクル管理へ
 - 3 ファイリングが不備なためにおこる具体的な経営リスク
 - 4 発生から廃棄の一元管理～トータルファイリングシステムの構築と運用～
- 第2部 文書管理の各プロセスのルール(ガイダンス・規定細目)の策定
 - 1 トータルファイリングシステムとは
 - 2 発生(作成)のルール化
 - 3 伝達のルール化
 - 4 保管のルール化
 - 5 保存のルール化(アーカイブズの適正化)
 - 6 廃棄のルール化
 - 7 上記を踏まえた上での電子メール取り扱いのルール化
- 第3部 グループワーク
発生から廃棄までの問題発見と解決についての整理(話し合いによる問題点の共有)
- 第4部 講評と総括 洗い出された問題点に対する解決へのヒントの提示

32

若手SEの説明能力・ドキュメント作成能力向上を目指す 若手SEのためのロジカルシンキング入門

講師: 寺池 光弘氏

(株式会社CACエクシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員)

本セミナーは、ビジネスの現場をひととおり経験した若手社員が、ビジネスシーンにおいて自分の意図を的確に相手に伝えるための、「考える視点」と「構造化する力」を身につけるためのコースです。

物事を漠然と捉えるのではなく、論理的に考え、説明する(話す/書く)ことができるようになるため、下記のような問題を解決できます。

● 報告書や計画書や見積り依頼書を作成する際、自分の伝えたいことはなんとなくはわかっているものの、まとめ方が今一わからないため、重要なポイントを書き漏らしてしまったり、独りよがりな文章を書いてしまい意図が正しく伝わらない。

● 上司に報告や説明を求められた際、話を組み立てずに説明を始めてしまい、「何を言っているのか分からない」と指摘される。

あるいは説明が冗長になってしまう。

加えてこれらの考え方や手法を活用し、納得性・説得性のあるドキュメントを作成する方法も伝授。講義だけでなく受講者参加型のグループディスカッション・演習(発表・説明)を実施しながら進めますので、知識を実践的に習得できます。

好評につき、シリーズで開催します。

■ 対象: 業務経験数年の若手メンバー(情報システム部門・情報システム子会社、Sier等)

■開催日時

2013年 6月 5日(水) 10:00-18:00

2013年11月6日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員: 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

1. プロジェクト目的とプロジェクト管理計画

- (1) プロジェクト目的とプロジェクト管理計画の関連
- (2) 品質目標とは
- (3) プロジェクト目的を品質管理計画へ反映していく考え方

2. 品質管理計画の作成の流れ

- (1) 品質目標をどのように導き出すか
- (2) プロセス品質の考えを取り入れるには
- (3) 規則・ルール化にとらわれないための観点

3. 品質管理計画の要素

- (1) プロジェクトの目的と品質目標
- (2) プロセス品質の要素
- (3) プロダクト品質の要素
- (4) 計画書自体にPDCAサイクルを取り入れる

4. 品質管理計画作成の勘所(演習)

- (1) プロジェクト目的からの記載要素を考える
- (2) 品質管理計画書の重要要素を考える

33

効率的で効果的な情報収集・分析を行うための基本手法を習得

若手SEのためのロジカルシンキング～システム企画編～

講師: 寺池 光弘氏

(株式会社CACエクシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員)

本セミナーでは、システム化計画フェーズ・提案フェーズを題材に論理的思考ツールを実践的に活用し、効率的かつ効果的な情報収集・分析を行うための基本手法を習得します。受講者参加型(講師とのインタラクティブなやりとり、グループディスカッション、ロールプレイ)で進めますので、知識を実践的に習得できます。また、参加者各自が研修終了後の実行計画を立てることで学習後の現場実践のための動機付けも明確になり、モチベーションアップにも繋がります。

システム企画上、身につけておかなければならない情報収集力について、

- 多様な情報を分かり易く整理できる
- お客様が何を問題にして何をしたいのかを明確に理解し、納得感のある投資対効果を提示する
- 収集目的に沿って、効率的に情報を収集できる

ようになるための、一通りの知識と基礎的な実践力を養う若手必見のコースです。

★「若手SEのためのロジカルシンキング入門」を受講された方のステップアップに最適なコースです! ★

■ 対象: 業務経験数年の若手メンバー(情報システム部門・情報システム子会社、Sier等)

※本セミナーは、参加者の声を反映し、従来の「若手SEのためのロジカルシンキング～情報収集編～」の名称を改訂したものです。

■開催日時

2013年 9月18日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員: 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

(1) はじめに(Why)

受講目的(必要性)の再確認

(2) 問題発見における情報収集の重要性(What)

(3) 情報収集・分析(How①顧客・事業を知る)

外部情報の収集(ファイブフォース分析)

(4) 情報収集・分析(How②課題を知る)

主要課題の構造化(戦略マップ)

(5) 情報収集・分析(How③課題の本質を知る)

課題の掘り下げ(MECE・ロジックツリー・質問力)

(6) まとめ・振り返り

今後の目標とアクションプランの書き出し、受講後の現場実践のための動機づけ

34

若手SEのドキュメント作成能力向上に焦点をあてスキルアップを目指す

若手SEのためのロジカルシンキング～ライティング編～

講師: 寺池 光弘氏(株式会社CACエクシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員)

メールのやりとり、提案書・報告書を作成する際に、このような経験はありませんか？

- ・要点がまとまっていない、わかりにくいと言われる
- ・文書を受け取った相手に内容を誤解されることがある
- ・文書を書くのに時間がかかる

このような悩みは文書をロジカルに書くための文章構成の「型」を学ぶことで克服できます。本コースではロジカルな文章を書くための

- ・「文章構成」の基本概念
- ・「文章表現」の基本ルール

を理解し、演習を通して体得することを目指します。

ロジカルで正確な文書を作成したい、要点を簡潔に伝えられる文書を作成したい若手の方におすすめのコースです。

■「分かる」だけでなく「出来る」を目指すために…

- ・研修スタイル>>>受講者参加型(講師からの問いかけ、グループ討議、全体討議・ナレッジ共有)
- ・業務への適用イメージを持てるように、振り返りの場を多く設定し、気付きを与えます。
- ・実際の業務で頻出する文書である「企画書」「報告書」「提案書」を題材に演習。実践的なライティング力が身につきます。

■対象: 業務経験数年の若手メンバー(情報システム部門・情報システム子会社、Sier等)

■開催日時

2013年 7月31日(水) 10:00-18:00

2014年 3月12日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員: 20名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

(1)はじめに(Why)

受講目的(必要性)の再確認

(2)わかりやすい説明とは(What)

(3)「文章構成」の基本概念(How-1)

・演習: 企画書の作成

・演習: 報告書の作成

・演習: 提案書の作成

(4)「文章表現」の基本ルール(How-2)

・演習: 可読性

・演習: 正確性

(5)振り返り

現場実践のためのアクションプラン

JUAS seminar

35

若手SEの業務課題の抽出力と分析力の向上を目指す

若手SEのためのロジカルシンキング～プロセス分析編～

講師: 寺池 光弘氏

(株式会社CACエクシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員)

下記のような悩みをお持ちの方に…

- 現状を整理することが苦手…全体感のある整理ができるようになりたい
- 問題を深堀りすることが苦手…いろいろな問題を構造的に整理できるようになりたい
- 改善提案を考えることが苦手…納得感のある解決策を提示できるようになりたい

本セミナーは、ビジネスの現場をひとまず経験された若手社員が、日常業務で求められる業務課題の抽出と分析について、一通りの知識と基礎的な実践力を身に着けるためのコースです。

プロセスモデリングによる問題の可視化→ロジックツリーによる問題の構造化→フレームワークを使った解決策の洗い出し→優先順位付け手法を使った解決策の決定…の各方法を伝授いたします。

受講者参加型(講師とのインタラクティブなやりとり、グループディスカッション、ロールプレイ)で進めますので、知識を実践的に習得できます。

■対象: 業務経験数年の若手メンバー(情報システム部門・情報システム子会社、Sier等)

※本セミナーは、参加者の声を反映し、従来の「若手SEのためのロジカルシンキング～問題発見編～」の名称を改訂したものです。

■開催日時

2013年7月3日(水) 10:00-18:00

2014年2月12日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員: 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

1 問題発見の基本手順を理解する(講義・グループ演習)

・問題とは/問題の種類/基本手順

2 問題の見つけ方を学ぶ(講義・グループ演習)

問題を発見するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践してみます。

・プロセスモデリング/ロジックツリーを使ったSo-What分析。

3 原因の見つけ方を学ぶ(講義・グループ演習)

根本原因を特定するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践してみます。

・ロジックツリーを使ったWhy-So分析

4 対策の見つけ方を学ぶ(講義・グループ演習)

解決策を立案し、選択するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践。

・フレームワーク思考/優先順位付け手法/ビジネスメールにおける表現の原則

5 まとめ・振り返り(講義・グループ演習)

研修内容をふまえ、今後の目標とアクションプランを書き出し、グループでディスカッションを行い、受講後の現場実践のための動機付けを行います。

36

提案の視点を磨く講座

～数百例の分析から導いた発想の視点を事例のシャワーと共に学ぶ～

講師: 小山 孔司氏 (元アンダーセンコンサルティング(株)(現アクセンチュア(株))) パートナー
明治大学ビジネススクール・グローバルビジネス研究科 兼任講師・(株)アライヴテック 取締役会長)

IT部門には、「全社の各部門の業務を横断的に俯瞰することができる」「各部門のデータやプロセスを横串で見ることができる」という強みがあります。しかしその強みを十分に生かして、自社のサービス・商品やビジネス・プロセスを、ITの視点から変革していくにはどうしたらよいのでしょうか。

本セミナーでは、プロセス改革・経営改革のエンジンとなる考え方(「革新ドライバー」)を豊富な経営革新事例とともに学びます。また、革新ドライバーという、経営改新の視点からビジネスを革新するための実践的なフレームワークをグループ演習を交えて体得します。

「革新ドライバー」とは数百事例以上の経営改革事例の分析と整理・体系化から生まれたフレームワークです。机上の空論ではないフレームワークを学ぶことで、各ドライバーの要素を組み合わせ、より実践的な自社の課題解決や目的実現につながる提案力を高めることを目指します。

■対象: IT部門からのビジネス提案を模索している方、業務プロセス革新へ取り組む上で役に立つ考え方にご関心のある方
※本セミナーは参加者の声を反映し、従来の「ビジネスプロセスを改革するフレームワーク適用実践講座」の名称を改訂したものです。

■開催日時

2013年 6月20日(木) 10:00-18:00

2014年 1月29日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

はじめに セミナー概要と目的の確認

革新ドライバーとソリューションの事例【講義/グループ演習】

1 顧客起点/2 中抜き/3 先回り/4 先送り/5 見える化
6 共同化/7 集約化/8 可搬性/9 共有化/10 統合化/
11 連結/12 外部化/13 標準化/14 追跡/
15 囲い込み/16 誘導/17 高速化/18 時差/
19 相互供給/20 移管

革新ドライバーの適用ケーススタディ【グループ演習】

革新ドライバーによる経営革新アプローチ【講義】

JUAS seminar

37

意味がわかる・必要事項への到達が早い・漏れがない わかりやすいマニュアル作成～操作マニュアル・取扱説明書編～

講師: 丸山 有彦氏(文書コンサルタント)

本セミナーは、マニュアル(操作マニュアル・取扱説明書)をどう作ったらよいのか、よく分からない方のためにノウハウを提供するものです。使う側に立ったマニュアルがあまりないため、せっかくのマニュアルが十分利用されていないことがよくあります。どのように作ったら、利用者が頼りにしてくれるマニュアルになるのか、具体的に学んでいきます。

まず、利用者がすぐに手にとって使ってみたくなるように作られていることが大切です。はじめに利用して使えることを実感してもらわないと多くの場合、放置されてしまいます。利用者の心をつかむ方法を学びましょう。

そのためには、明確な文章を書くことが基礎になります。マニュアルをはじめとした説明をするための文章には基本構造があります。その基礎を押さえてから、自分で文章をセルフチェックできるようになるためのノウハウを身につけます。

また使いやすいマニュアルにするためには、必要な情報の集め方や、選択方法も知らなければなりません。加えて、構成の工夫の仕方、上手な項目の立て方も学びます。このセミナーで習得したことを実践すれば、あなたもユーザーから頼りにされ、使ってもらえる操作マニュアル、取扱説明書が作れることでしょう。

■開催日時

2013年 5月22日(水) 10:00-17:00

2013年12月19日(木) 10:00-17:00

※わかりやすいマニュアル作成シリーズ: 業務マニュアル編も

2013年9月12日(木)開催

http://www.juas.or.jp/seminarevent/open_seminar/detail.asp?SEMICODE=415197

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

- 1 総論
- 2 情報集め・構成
- 3 文章
- 4 評価

＜講義項目例＞

- ・マニュアルの電子化に際して注意すべきこと
- ・マニュアル作成担当者となる役割分担
- ・マニュアル作成計画の立て方
- ・情報集めをするときの原則となる考え方
- ・情報収集の仕組みをつくる一宿題方式
- ・項目をどうやって決めていくのか
- ・階層の少ない構成一富士山型
- ・操作マニュアル・取扱説明書の評価基準

38

思考の整理、ファシリテーション、レポート・提案書作成のための 図解表現入門講座

図解表現の原理・原則とテクニックを学ぶ講義と演習の1日コース

講師: 丸山 有彦氏(文書コンサルタント)

私たちは、さまざまな場面で図やイラストを目にします。パワーポイントをはじめとして業務においても、図やイラストが必要不可欠なものとなっています。

しかし作成者側になったとき、大抵の人は何から手をつけたら良いのかわからず立ちつくします。アプリケーションの使い方がわかることとは別に、図解をする際にどう作すべきかを学ぶ必要があります。

最近一枚におさめた企画書を目にする機会も多くなりました。それらは大抵きれいに作られてはいるものの、すべてが読み手に訴えかけるものばかりではなさそうです。そこには、センスの良し悪し、色彩の問題だけでなく、表現の内容・様式が関係しているようです。

最も大切なこととして図解をする前に、自分の考えを整理して提示できるかという点があります。整理された考えを効果的に伝えるには図解が大いに役立ちます。さらに、効果的な説明を加えて、不特定多数の方々にアピールすることもできます。

本セミナーでは、発想法としての図解から効果的な図の配置、視点の流れまでを基礎からお話します。

■対象: 図解表現の原理・原則、基礎を学びたい方

■開催日時

2013年4月24日(水) 10:00-17:00

2013年10月23日(水) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

- 1 図解とはどんなものか
- 2 図解の構成要素と図解の種類
- 3 図解を利用する3つの場面
- 4 図解作成の基本的手順
- 5 業務フロー図を描く
- 6 人間の視覚に関する基本原則
- 7 イラストの利用
- 8 色の使い方
- 9 全体のバランス
- 10 プレゼンテーションと紙文書

39

仕様変更を最小限に抑えるヒアリング技術

講師: 尾田 友志氏(マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表)

要求定義工程におけるヒアリングに際して、その担当者は「システムの利用者は自社の要望を正しく言うことができないものである」という心構えでのぞむ方が良いかもしれません。「問題だ」と言っていることの多くは、その個人・部門で発生した事象・現象(いわゆる結果)に過ぎず、真の問題とは異なるケースが多々あるからです。

仕様変更は、単なる事象・現象として出てきたことに対する、システム利用者の要望をそのまま鵜呑みにして、設計に入ってしまうことから起きるのではないのでしょうか。ではどのような姿勢でヒアリングに入ったらよいのでしょうか。ポイントは、あらかじめ仮説を立て、検証していく姿勢で具体的な質問をすることによって、顧客の頭の中のイメージを引き出すことにあります。

相手の言うことを鵜呑みにせず、将来を見据えた大目標を洗い出すこと、業務のあるべき姿を明らかにすることが、もうひとつのポイントです。

このスキルには、大きく①上手な話し方をする ②予見・知見などを基に的確に質問する—という2つの側面が関係します。現場で差別化できるのは②です。本セミナーでは業界の動向、予見したあるべき経営管理の在り方に基づく高度なヒアリングテクニックまでを紹介いたします。講師の話を聴くだけでなく、講師の講義方法、身のこなしなどもひとつの話し方のモデル例として、ぜひご参考にして下さい。

■対象: システム開発においてユーザーなどにヒアリングを担当される方

■開催日時

2013年4月18日(木) 10:00-17:00

2013年9月20日(金) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1部 基礎技術編—基礎スキルと基礎テクニック

- 1 なぜクライアントは自分の要望を正確に言えないのか
- 2 話し方の基礎技術—基本の基本を再確認する
- 3 聴き上手は話し上手—積極的傾聴法を実践する
- 4 システム開発の目的を明確にする—相手の言い分を鵜呑みにしないワークデザインによる分析の重要性

第2部 応用技術編—業界動向・経営管理ポイントを基にした差別化・付加価値を付けるヒアリングとファシリテーション

- 1 現状を聞き取る一踏んではいけない地雷は何か
- 2 業務と経営管理のあるべき姿の全体像を描く
- 3 クライアントとのシステム開発アウトラインのすり合わせ
- 4 プレゼンテーションにおけるヒアリングと注意点
- 5 プロジェクト体制に関するヒアリング
- 6 ユーザーと面談(初回ヒアリング)に入る前の仮説立案演習

40

フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ プロジェクトマネージャーの勝利の方程式

～より信頼されるPM、より行動的なPMの育成を可能にする～

- (1) 各フェーズごとの徹底的なケーススタディを通じて、若手・中堅のPMが経験できないプロジェクトが疑似体験できる。
- (2) 各フェーズごとの徹底的なケーススタディを通じて、PMの問題解決力、マネジメント力を強化する。
- (3) PMの行動原則をもとに自己評価を行い、自身の改善目標を立てる。
- (4) グループ討論などを経て、他人の考え方にも触れ、幅広い視野と人間力強化につなげる。

講師：河尻 直己氏 (KNコンサルティング株式会社 代表取締役)

若手・中堅のプロジェクトマネージャー、もしくはプロジェクトマネージャー未経験の方が、フェーズごとの徹底的なケーススタディを通して、プロジェクトの疑似体験ができるセミナーです。
プロジェクトマネージャーに必要な知識・スキル・人間力の強化をはかると共に、講師の体験事例やグループ討論を経て、他人の考え方にも触れることで幅広い視野を身に付けます。
更にプロジェクトマネージャーの行動原則をもとにして自己評価を行い、自身の改善目標を立て成長を目指します。

■対象：若手・中堅プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャー未経験者

■開催日時

2013年7月18日(木) 10:00-18:00

2014年3月7日(金) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

- 1 イン트로ダクション
- 2 PMとは
- 3 ケーススタディ-1 PMIにアサインされて先ずすべきこと
- 4 ケーススタディ-2 要件定義フェーズ
- 5 ケーススタディ-3 基本設計フェーズ
- 6 ケーススタディ-4 詳細設計・開発フェーズ
- 7 ケーススタディ-5 テストフェーズ
- 8 PMの行動原則と自己評価
- 9 全体のまとめ

41

スマホ・タブレットPC、BYOD、SNS利用の リスク評価(見直し)と利用規定案解説

講師：広口 正之氏

(リコージャパン株式会社 コンサルティング推進室
情報セキュリティコンサルティンググループ シニアコンサルタント)

iPhoneやアンドロイドなどのスマートフォンは、急速に普及しつつあります。しかし、一方でウイルス感染、不正アプリなどの問題が発生しています。iPadなどのタブレットPCは、大量導入する企業も増えてきました。また、BYODと言われる私物機器の利用も増えてきました。この結果、公私の境界が不明瞭になるので、従来の利用規定では、実態に合わない部分が出てきています。

本セミナーでは、スマートフォン、タブレットPC、BYOD、ソーシャルネットワークにおける新たな脅威に対抗しつつ、事業に活用してゆくためには、どのような利用規定であるべきかについて、モデル例をもとに解説し、最後に参加者による議論により“大丈夫さ”(抜け・漏れなど)を評価します。

■開催日時

2013年5月21日(火) 10:00-17:00

2013年9月25日(水) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

第1部 スマートフォン・タブレットPC等利用の利用規定案解説 (BYODを中心として)

1. 想定されるセキュリティリスクの再確認
2. 想定される労務リスクと対応
3. セキュリティ対策の再確認
4. 費用負担と補助金
5. 新しい脅威と規定案作成にあたっての悩ましい点(問題点)の対応案
6. 利用規定案の詳細解説

第2部 ソーシャルネットワーク利用の利用規定案解説

1. 想定されるセキュリティリスクの見直し
2. セキュリティ対策の再確認
3. 利用規定案の詳細解説

第3部 規定案の“大丈夫さ”(抜け・漏れなど)を討議

42

図表化技法実践講座

～図解と文章による論理表現技法実践講座～

講師: 三輪 一郎氏(株式会社プライド チーフ・システム・コンサルタント)

情報システムは、見ることも触ることもできません。そのシステムに関して誤解なき合意を得ることは、もともと至難の業なのです。その情報システムが企画され、設計されている間、まだ見ぬ新システムに関する理解を促す立場に置かれた方々は、日々現場で苦勞をされています。あるいは運用開始後のシステムについて、短時間でその全貌と構造を理解しなければならない方にとっても、頼りになるのは「文書」だけです。

本講座では、見えない・触れないシステムを、より正確に理解し、表現するための「文書作成の技術」を、「図解表現」に着目して解説し、また、いくつかの演習を通じて身につけていただきます。ご紹介する「8つの要件」、「4つのモデル」、「10のポイント」の理解を通じて、システム・ライフサイクル全体を対象とした、実践的なシステム文書作成の技術を身につけて下さい。

■開催日時

2013年 5月17日(金) 10:00-18:00

2013年11月27日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

I. 文書化とは

1. 文章表現の可能性と限界
2. 論理性の追求:「8つの要件」

II. 文書化の基礎理論

1. 文書化とは
2. 観点の分離
3. 図表化演習(1)文章の図表化
4. 構造化とモデル化
5. 形式化と定量化
6. 文書化:基礎のまとめ

III. 図表化の技法

1. 図表化の技法:「4つのモデル」
2. 図表化演習(2)継承の検証

IV. 文書の構造化と図表化

1. 情報システムの構造モデル
2. 文書構成と章立て
3. 図表化演習(3)記述レベルを整える

V. 文章表現の品質向上

1. 重要性を増す日本語力
2. 文章の改善:「10のポイント」
3. 図表化演習(4)ケース漏れを正す

43

ヒューマンマネジメント

※セミナーの日程は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。

JUAS seminar

45

若手SEの方必修！ プロジェクトファシリテーション能力向上研修

□プロジェクト活動や会議におけるファシリテーターの役割・効果を理解する
□ファシリテーションを実行するための3つの基本スキルを実践的に習得する

講師：足立 英治氏(株式会社フォース・トランキル 代表取締役)

プロジェクト活動の成否を大きく左右するのが、メンバー間のコミュニケーションとプロジェクトチームのチーム力です。
多くのプロジェクト活動が、プロジェクトマネージャーのマネジメント能力・リーダーシップへの過度の期待によって失敗しています。
このような事態を未然に回避するには、メンバー間の相乗効果と自律性を高めるチーム作りや、プロジェクトマネージャーとは別に、プロジェクトあるいはプロジェクト会議を進行するファシリテーターを配置することが有効とされています。
本セミナーでは、プロジェクト活動・会議におけるファシリテーターの役割を理解し、ルールの設定・板書の方法・議事録の記録方法・問題行動への対処・介入方法などを具体的に学びます。

■開催日時

2013年 10月7日(月)10:00-18:00
2014年 2月17日(月) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

項 目	ポイントと進め方
オリエンテーション 強いチーム	コンセンサスゲームを使って、強いチームを創るためのファシリテータの役割を理解する。
ファシリテータの基本行動	プロジェクト立ち上、計画実施、変更管理、評価の各ステップでのプロジェクトファシリテーションを行うためのファシリテータの基本行動を双方向講義で明確にする。
プロジェクトキックオフ会議のプロセスデザイン	ケースにより、プロジェクトキックオフ会議準備を通して、プロセスデザインを実践的に習得する
実習の振り返り	会議におけるファシリテーションの基本行動(質問のスキル、記録のスキル、介入のスキル)を、双方向講義とロールプレー実習で習得する。
プロセス観察と介入のスキル	会議の問題行動への対処をロールプレー演習で習得する
実習の振り返り	

JUAS seminar

46

問題の本質を解き明かす「着想の技術」

□人間だれもが持っている連想力を活用し、問題を掘り下げる「タテの質問」× 問題の全体像を描く「ヨコの質問」で、解決できる原因と問題の全体構造を見える化します。

□効果的な問題解決への導き方を「感性やセンス」でなく、シンプルでロジカルな「スキル」として体得します。

講師：諏訪 良武氏（ワクコンサルティング株式会社常務執行役員 エグゼクティブコンサルタント）

プレストや会議で、「問題を挙げて」といわれても、「10個挙げるのも一苦労」「やたらと数はあがったけれど、どれも核心に触れていない……」。それらを才能やセンスがないからと、あきらめていませんか。問題解決がうまくできないのは、中途半端なブレークダウンで「解決できる原因を抽出できていない」と、網羅的に原因を抽出していないため「問題の全体像を把握できていない」ことが理由です。本セミナーでは、情報やアイデアの数と質を生み出す力を「才能やセンス」として片付けるのではなく、シンプルかつロジカルな「スキル」として体得できます。問題を掘り下げる「タテの質問」と、問題の全体像を描く「ヨコの質問」を組み合わせる手法や背景の考え方を演習を交えてすすめます。

- ・問題を掘り下げて、解決できる原因を見つける方法をマスターします。
- ・連想力を活用して、問題の全体像を把握する方法をマスターします。

これからの情報システム部門にとって業務改善の場面でも、新しい価値創造の場面でも、欠かせないビジネスリテラシーを身につけたい方は必見です。

■対象：業務改善の場面でも、新しい価値創造の場面でも、欠かせないビジネスリテラシーを身につけたい情報システム部門の方

■開催日時

2013年7月10日(水) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 25名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

- | | |
|---|--|
| <p>1 IT部門にとって、今の時代を再認識する</p> <p>2 着想の技術ステップ1:
「問題の本質」を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題と目標との関係を考える ・問題と結果との関係を考える ・問題と原因との関係を考える <p>3 着想の技術ステップ2:
問題を解決できる形に加工する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決できる原因をリストアップする ・原因を網羅的に把握する ・たった二つの質問で問題を分解する ・原因に優先順位をつける | <p>4 着想の技術ステップ3:
問題の全体像を把握する</p> <p>5 解決策を作成する</p> <p>6 解決策を実行する優先順位をつける</p> <p>7 解決策を実行する</p> <p>8 問題解決の演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なテーマで実際にやってみる |
|---|--|

47

発想力を磨く！問題感知／課題発見力強化

- 潜在的な「問題」を「問題」として感知するアンテナの立て方を磨きます。
- 何をすべきかの本質を見極め「問題」を「課題」として整理するためのスキル習得を中心に、基礎力としての「発想力」を養います。
- 演習を通じて、問題発見・課題選定・課題解決のための目標設定までのプロセスを一通り体験することで、PDCAサイクルを実践・管理できるようになることを目指します。

講師：西嶋 陽一氏(株式会社TRUソリューションズ 代表取締役)

業務を改善し、生産性を高めるには、

- (1)顕在化した「問題」や潜在的な「問題」を感知し、整理。
- (2)洗い出した「問題」の中から、意識化して「課題」として取り組むものを明確化。
- (3)「課題」解決のために「どうすればよいのか」「関係者の役割ごとに何が必要なのか？」を検討し、具体的な行動計画に落とし込むというプロセスを繰り返していくことが重要です。

その各プロセスの礎となるのが「発想力(新しい視点で物事をとらえアイデアを生み出す力)」です。

本セミナーでは、グループ討議や講師によるアドバイスを交えながら、発想力を養い、課題発見力(何をすべきかの本質を見極める力)と課題解決力を磨きます。日々の業務を少しでも向上させたい方、発想力を向上させたい方、必見のコースです。

■対象：日々の業務改善をめざす全ての方

■開催日時

2013年7月17日(水) 10:00-18:00

2014年1月17日(金) 10:00-18:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 20名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

JUAS seminar

■主な講義内容

- (1)オリエンテーション／アイスブレーキング
- (2)＜講義＞ 問題意識と発想力リーダーの立場
- (3)＜ケースによる討議＞「問題」と「課題」との違いの見極め方の練習
- (4)＜発表と検討＞ 発表後に全員で評価・検討
- (5)＜講義＞「発想力」が「課題発見」の源泉発想力を支える「7つのマインド」
- (6)＜討議＞ 懸案事項を「発想力」を活用し、可能な限り数多く抽出
- (7)＜討議＞ 分類とプライオリティー付け
- (8)＜討議＞ 解決策の模索
- (9)＜討議＞ アクションプランの作成
- (10)＜講義＞今後の対応等、Q&A

48

業務プレゼンテーションにおける 話し方を磨く講座

～聴き手を惹き付ける！魅力的なプレゼンターになるための一日集中セミナー～

大手SI会社元SEが語る「話しベタ」でもプロになれるノウハウ拳大公開

講師：町田 和隆氏(株式会社MOONコンサルティング 代表取締役)

あなたのプレゼンテーションは、聴き手を惹き付けていますか？ 間違いのない情報を、完璧に語り尽くしたのにもかかわらず、なぜ聴き手からYESがもらえないのか？理由もわからないままに、同じような悔しい思いを何回も経験するビジネスマンは、決して少なくありません。もし、あなたがご自身で認識している実力と、外部の評価とのギャップに悩んでいるとしたら、プレゼンテーションの基本スタンスを大きくはき違えているのかもしれない。

本セミナーでは「プレゼンテーション」の基本スタンスをはじめ、マインド・テクニック・コンテンツといった、誰もが魅力的なプレゼンターになれるようになるための基本から応用までを指導していきます。現役プロ講師直伝の充実した一日集中セミナーです。

一番重要なこととして、終了後も実践力を強化していくために必要な準備法&練習法をお伝えします。なぜなら、本番とは練習の淡々とした再現にすぎないからです。実践的なトレーニングを、正しい方法で、プレゼンター本人がどれだけやったかが、すべての成功のカギとなります。

本セミナーを通じて、あなたも聴き手を惹き付けるプレゼンターになるためのノウハウを学んでみませんか？

■対象：業務プレゼンテーションの技術を向上させたい方

■開催日時

2013年 6月19日(水) 10:00-17:00

2013年12月13日(火) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 20名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

事前学習：プレゼンのシナリオと資料作成実習

- 1 なぜ、「プレゼンにおける話し方」を磨くのか？
- 2 これを外してはいけない！「プレゼンテーション」の基本スタンス
- 3 魅力的なプレゼンターになるための心構え(マインド)
- 4 聴き手を惹き付ける伝え方・魅せ方(テクニック)
- 5 共感を誘い、成果を引き出すストーリー展開術(コンテンツ)
- 6 トレーニング&フィードバック(プレゼンテーション実施と評価)

49

話し方を磨く講座

～業務プレゼン・スピーチにおいて魅力的な話し手になるための1日集中セミナー～

大手SI会社元SEが語る「話しベタ」でもプロになれるノウハウ拳大公開

講師：町田 和隆氏(株式会社MOONコンサルティング 代表取締役)

あなたは、人前での話し方で損をしていませんか？ 中身はとても良いはずなのに、声が通らず・聴き取りにくい、あるいは話の展開が支離滅裂で分かりにくい・意味不明に陥るなど。さらに厄介なのは、聴衆の前に立った途端、頭が真っ白になってしまう、いわゆる“あがり”に遭遇することです。

一般に人前での話し方で失敗すると、その人の評価は下がってしまいます。特にビジネス現場での失敗は、その人の出世を妨げ企業業績までも左右する重大な事件になってしまうかもしれません。せっかく話をする機会に恵まれたにも関わらず、そのような結果となってしまふことは、とても残念なことです。

一方で、素晴らしい話し方をする事で、他人から賛同と共感を得て昇進をつかみ、会社の発展に貢献する人もいます。この両者の違いはどこにあるのでしょうか？ それは、「あなたの話を聴きたい」と周囲から要請され、本人がそれを承諾し、晴れて人前に立つその日までの間に、いかに実践的なトレーニングを、正しい方法でその本人がやったかどうかにあります。

本セミナーを通じて、あなたも魅力的な話し手になるためのノウハウを学んでみませんか？

■対象：人前での話し方に自信をつけたい方

■開催日時

2013年 4月16日(火) 10:00-17:30

2013年10月31日(木) 10:00-17:30

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員／ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 18名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

- 1 なぜ、「話し方」を磨くのか？
- 2 「話し方」の4つの場面
- 3 「話し方」の基本
- 4 上手な話し手になるための心構え(メンタル)
- 5 聴き手を惹き付ける伝え方・魅せ方(スキル)
- 6 共感を誘うテーマと内容(ナレッジ)
- 7 トレーニング&フィードバック

50

簡単に出来る「リスクの見える化」と「リスク管理」実践法

ー問題プロジェクトの未然防止と解決の早道ー

ー「リスク」の見える化、「リスク管理」のデザイン、「リスク管理プロセス」構築

講師: 関 弘充氏(ヒューマン&クオリティ・ラボ 代表、元 富士通(株)人材開発部 シニア・レクチャラ)

システム開発や運用、製品開発、事務作業などの組織的活動においては、突然、問題が発生して思わぬ損害やトラブルを招き、お客様(システム利用者)の信頼を失ってしまうことが多々あります。その際に『想定外のことが起きた・・・!』と動転し、混乱状況を招いてしまうわけですが、そのような組織には「リスク管理」活動が欠如していると言えます。

「リスク管理」の目的は、見えないリスク状況を「見える化」して対応策を採ることにより、「想定外の問題」発生を極小化させていくことにあります。またヒューマンファクターを重視して、人間が本来保有している潜在能力を活かして「リスク意識の高い」組織風土を形成することが重要になってきます。

システム開発や運用などの組織的活動における成功確率は「リスクの見える化」ならびに「リスク管理」をどのようにデザインできるかどうかに掛かっています。

本セミナーでは、「リスクの見える化を成功させるコツ」と「リスク管理のデザイン方法」について演習を取り入れながら解説し、現場で即、活用できる内容となっています。

■対象: 実効性のあるリスク管理を考えているシステム開発のリーダー・マネージャー

■開催日時

2013年5月14日(火) 10:00-17:00

2013年11月9日(火) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1章 見える化へのアプローチ

- 1.1 見える化とヒューマンファクター
- 1.2 リスクの見える化へのアプローチ(準備)

第2章 リスクの「見える化」プロセスの構築

第3章 リスクの見える化 ワークショップ

- 3.1 リスク管理とは?
- 3.2 リスク管理の準備
- 3.3 リスク管理の実践
- 3.4 リスク管理テンプレートのデザイン

第4章 成功事例と失敗事例

第5章 まとめ

(注)ワークショップとして演習を体験いただき、現場で即、役立つ内容にしたいと考えております。

51

ヒューマンエラー防止のための品質マインドの向上方法と 改善活動

～「わくわく」感を生み出す「人間力醸成」と「善なる思いの連鎖」～

ルールを強化するだけでは「失敗の構図」をつくり出すだけである。

講師: 関 弘充氏(ヒューマン&クオリティ・ラボ 代表、元 富士通(株)人材開発部 シニア・レクチャラ)

ヒューマンエラーによるトラブルが発生すると、要領・ルールなどを強化して反省を迫り、言われたことしかやらない「考えない集団」を生み出し、見事に「失敗の構図」を作り上げてしまいます。このような「負の連鎖」を断ち切るためには、人間活動の根源となる人的側面に光を当て改善の知恵が日常化する組織風土を形成しなければなりません。

本セミナーではヒューマンエラー防止のための「品質マインド醸成法」と「全員参加型の改善活動」、その基盤になる「動機付け法」「人間力醸成法」「自己啓発法」等を取り上げ、ミニ演習を織り込み、組織における具体的な実践・指導方法を会得を目指します。

■対象: 実効性のあるヒューマンエラー防止策を考えているリーダー・マネージャー

■開催日時

2013年 4月 9日(火) 10:00-17:00

2013年10月15日(火) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1章 ヒューマンエラーと人間重視

- 1 ヒューマンエラーがシステムを崩壊
- 2 失敗の構図と負の連鎖を断ち切る知恵

第2章 失敗を繰り返さないための「人間力の醸成」

- 1 「わくわく」感と人間力の醸成
- 2 人間力の発揮と人を動機付けする秘訣

第3章 トラブルと人間関係

- 1 人間のタイプ
- 2 「人間関係向上」とアサーション

第4章 「人を動かす」動機付けの仕組み構築

第5章 品質&改善マインド醸成ワークショップ

第6章 失敗を繰り返さないための「自己啓発」

第7章 失敗を繰り返さない組織風土の構築

52

現場で使える 「品質の見える化」と「定量的品質管理」実践法

講師: 関 弘充氏 (ヒューマン&クオリティ・ラボ 代表、元 富士通(株)人材開発部 シニア・レクチャラ)

本セミナーは、品質問題を抱えていた組織をSI分野で日本初のCMM(注1)レベル5達成に導いた経験を持つ講師が担当させていただきます(後に現在のCMMILレベル5を達成)。

新たに「定量的品質管理をデザインしようとしている方々」または「見直し強化を図りたいと考えている方々」を想定して、体系的に「定量的品質管理」をデザインできるように構成しております。今後デザインされる皆様の立場に立って「動機付け法」等の生じてくるとされる諸課題を克服するための「ヒントやコツ」、「テンプレート・デザイン法」などについて、演習を通じて会得していただけるようにしております。実践経験に基づいた「具体的なデザイン事例」や「成功させるコツ」、「苦労話」等を併せて紹介いたしますので、皆様の組織の成熟度向上のヒントとしていただけたら幸いです。

(注1) CMM and CMMI are registered in the US Patent and Trademark Office by Carnegie Mellon University

■開催日時

2013年 6月14日(金) 10:00-17:00

2013年12月20日(金) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1章 定量的データによる品質の見える化

- 1.1 人間重視のプロセス改善
- 1.2 人を動かす仕組みの考案

第2章 プロジェクトを支える定量的品質管理

第3章 定量的品質管理のためのデザインワークショップ

- 3.1 定量的データによる品質の見える化の基盤
- 3.2 定量的品質管理のための準備
- 3.3 定量的品質判定の実践
- 3.4 定量的品質管理の実践

第4章 定量的品質管理と統計的分析手法

第5章 効果的な見える化実践サイクル

第6章 まとめ

(注) 演習を交えて実体験いただき、理解の促進に努めます。

53

ファシリテーター養成講座 ～会議の生産性を劇的に高める

職場での会議やシステム開発現場を活性化させ、日々の体験から学べる組織をつくる～プラス状況対応型リーダーシップ分析の活用～

- ファシリテーションを体系的に理解し、新しい知恵を生み出す「知の創造技術」を学びます。
- 価値観の異なったメンバー間の合意を形成するスキルを学びます。
- 会議ファシリテーターとして、会議の生産性を高めるスキルを学びます。
- ファシリテーターとして、状況に合わせたリーダーシップスタイル発揮の仕方を学びます。
- 自分も相手も勇気づけることができる方法を学びます。

講師: 石橋 正利氏(株式会社総合教育研究所 代表取締役)

会議やシステム開発現場で、メンバーの発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、参加者の合意を確認するために介入することにより、組織やメンバーの活性化、協働を促進させることや、プロジェクトの問題解決を図ることは、プロジェクトのマネージャーにとって必須の能力です。

この講座では、コミュニケーションスキル以外にも、プロセスデザイン、ミーティングや会議の進め方、状況に合わせたリーダーシップスタイルの展開方法など、ファシリテーターとしての役割を学びます。

■開催日時

2013年8月20日(火) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC: 31,500円 一般: 39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

1. ファシリテーションの基本知識

参加しているメンバーの多様な個性・志向性・経験・知識・技術などの人的資産をコラボして、一体感の醸成や効果的な意思決定の場をつくる上で欠かすことのできない基本的なファシリテーション・スキルを学びます。

2. ファシリテーションを活用した会議

「会議」という枠組みを理解すると共に、「会議」の場における阻害要因・促進要因を知ることで、実際の会議の場面における発生しやすい問題への対処や、進め方を学びます。

54

早期に人材を人財に育てる研修の企画と効果測定法講座 ～人財育成の投資効果を劇的に高める～

研修を業務上の成果に結び付けるために必要な、研修前と研修後の実効性を高める仕組みについて具体策を紹介いたします。研修の前後で上司がどのように関与するかで研修効果は大きく変わります。研修企画担当者だけでなく、部下の効果的育成を考えている管理者のために有効な内容です。

(※参加者の声を反映し、「真に効果を上げる研修のあり方と研修効果を高めるための効果測定法」の名称・一部内容を改訂しました)

講師:石橋 正利氏(株式会社総合教育研究所 代表取締役)

どんな研修プログラムを企画、実施すれば経営目標達成に貢献できるのか、戦略的視点から発想し、組み立てられる能力開発スタッフの養成は急務です。

本セミナーでは、「研修をやったと実感」と現業部門から感謝される研修企画のやり方と、研修を業務上の成果に結び付けるために必要な、研修前と研修後の実効性を高める仕組みについて具体例を紹介いたします。さらに、研修で学んだことを実行し、業務の改善につなげるPDCAに必要な研修効果の測定法を実例を交えて紹介します。

■開催日時

2013年6月18日(火) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

◆研修の目的◆

- ◇顧客が求める価値を生み出せる人財を計画的に育てられる研修を企画できるようになる。
- ◇能力開発部門と現業部門とがコラボして、人財を育てられる組織改革のシナリオを組み立てられる。
- ◇研修受講者が学んだことを活かしてビジネスの成果に貢献できる組織力を高められるようになる。
- ◇投資としての研修の効果を測定することができるようになる。

◆内容◆

- 1.業績に貢献できる研修企画・運営の方法
- 2.研修効果の実態と高め方
- 3.研修効果測定の方法

55

自分自身とメンバーのやる気を高められる モチベーター養成講座 ～最新モチベーション・マネージメントの活用～

- ◇(マネージャーとして)、メンバーの志向性に合わせた動機付けができる。
- ◇モチベーションを上げることで、好ましい行動変容に取り組める。
- ◇動機づけを周囲から与えられなくても、自ら高められる。
- ◇うまく事が運ばなくても、諦めることなく、チャレンジし続けられる。
- ◇周囲から期待される目標に対して、前向きにコミットできる。

講師:石橋 正利氏(株式会社総合教育研究所 代表取締役)

モチベーションとは、人が一定の方向や目標に向かって行動し、それを維持するために不可欠な意欲の源になる「動機」を意味します。モチベーターとは、この動機付けが出来る人のことを言います。

本セミナーでは、自分自身のモチベーションを自ら高められるようになると同時に、周囲のモチベーションを高められるマネージャー・リーダーを養成するための考え方とスキル、仕組みを学びます。

■開催日時

2013年10月22日(火) 10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 24名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

1. モチベーション危機の要因は何か

時代の変化から読み取れる社員のモチベーションの変化と、なぜ経営課題として取り上げる必要があるのかを検証することで、問題意識を深化させます。

2. モチベーションに関する基本理論

モチベーションという捉えにくいテーマを見える化し、手が打てるようになるためのモチベーションの基本理論を学びます。

3. モチベーションをいかに高めるか

誰でもやる気の元なる動機は同じかと言うとそうではありません。個々の多様なレベルと志向性・価値観の違いに合わせてモチベーションを高める方法を学びます。

56

リーダーからPMへ効果的育成のノウハウ ～その仕掛け・仕組み(制度・場の提供)と運用～

講師:白子 俊治氏(ホワイトチャイルド 代表 米国PMI認定PMP プロジェクトマネジメント講師)

プロマネの育成にお悩みの方に、様々な育成方法を具体的にご紹介します。
プロマネになるには、決断力や交渉力など多岐にわたる分野で力を養成する必要がありますが、今職場ではOJTを行う余裕がなく、社外教育の予算も減少しています。しかし、人は誰しも成長したいと思っています。そこで、OJTやOFF-JTだけではなく、皆が参加してお互いに成長し合う「場」の提供が必要とされています。特にリーダー(チームリーダー)がプロマネになるには、今までとは違ったスキルを修得すると共に、仕事への幅を広げる「場」を活用することが重要になります。

本セミナーでは、優秀なプロマネを育成するノウハウ習得が可能です。

■対象:PMの育成方法を体系的に学びたい教育ご担当者

■開催日時

2013年4月23日(火)10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 30名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1章 プロマネ育成の現状と課題

第2章 リーダーからプロマネへ

第3章 人材育成のアプローチ

第4章 人材の育成方法(OJTとOFF-JT)

第5章 人材の育成方法(場による活動研修)

第6章 コミュニティ活動

57

システム開発プロジェクトにおける メンバーの多様性を活かすチームビルディング実践講座 ーチーム運営に必要な知識と技術ー

講師:永谷 裕子氏(株式会社アスカプランニング 取締役社長)

現代のITプロジェクトは、正社員、男性・女性、派遣社員、熟練者と若者、外国人などの多様性チームで推進されています。
このような混成チームでの効果的なチームビルディングには、リーダーシップ・スキルはもとより、ファシリテーション、ネゴシエーション、メンタリングなど様々なステップアップしたスキルが要求されます。

本セミナーでは、こうしたヒューマンスキルの基礎となるコミュニケーションのメカニズムを理解し、その応用であるリーダーシップ、ファシリテーション、ネゴシエーションのプロセスについて体験学習を通して習得します。

■対象:これからシステム開発のリーダーになる方、部下を持つ方

■開催日時

2013年5月15日(水)10:00-17:00

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:31,500円 一般:39,900円

■定員 20名

■会場 JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

1 現在のITプロジェクトチームの多様性の背景

2 多様性チームの運営に求められる 5つのリーダーシップスタイル

3 コンフリクトマネジメントと交渉術

演習① リーダーシップスタイルのケーススタディー

演習② 交渉の実践 ロールプレイをしてみよう!

4 最後に Q&A

58

中堅向け勉強会

JUAS seminar

59

雌伏の今こそIT構想・企画力がビジネスイノベーションを促す！ システム化企画力・構想力 勉強会

- 提案能力、企画能力が確実に一歩進むことを目指します。
- 新ビジネスモデルや業務改革のヒントが得られる。
- 経営視点でシステム化の投資対効果が説明できるようになる。
- Top向けシステム化計画の実行計画概要図（1-2枚もの）を作成できるようになる。

講師：寺池 光弘氏（株式会社CACエクシケア 人事部 キャリアアドバイザー 情報処理技術者試験委員）
足立 英治氏（株式会社フォース・トランキル 代表取締役）

企業が環境変化に対応しイノベーションを実現するためには、①どのような視点で改善改革のアイデアを生み出せばよいのか（問題感知力）②改善改革の実行計画をどのように作成すれば良いのか（問題解決力）③評価はどのように行えばよいのか（問題評価力）、にもとづいて改善改革案を創造し着実な実行計画を作成することが重要です。

本セミナーでは、ビジネスモデルの視点から業務・システムを見直し、最適なシステム化を推進するための「様々な思考法」「システム化計画フェーズの進め方」「勘所」を学びます。講義中心ではなく、事前演習・受講者参加型のグループディスカッション・振り返りを数多く取り入れ、受講者が積極的かつ実践的に取り組めるプログラムです。

●JUASならではの特徴

- ・「システム化計画フェーズの進め方」は、UISSの「IS戦略策定」「IS企画」に準拠
- ・「思考法」や「勘所」では、「システムリファレンスマニュアル」「IT投資価値評価に関する調査研究」「障害対策分析」など

JUASの様々な研究会のノウハウを活用していきます。

■開催日と内容(全4回)

	開催日	内容
1	2013年11月6日(水)	新ビジネスモデルの企画(事業戦略の理解／商品・サービスの差別化／イノベーション事例研究)
2	2013年11月13日(水)	新業務プロセスの企画(課題の洗い出し／漸進的改革シナリオの検討／イノベーション事例研究)
3	2013年11月20日(水)	新システムの企画(基本要件の整理／システム方式の策定／基本要件の実現性の検討／イノベーション事例研究)
4	2013年11月27日(水)	システム化計画書の策定(全体スケジュールの作成／推進体制の構築／費用とシステム化効果の予測／上位計画との整合性検証／リスク分析／システム化計画の文書化／承認)

■時間

いずれも10:00-18:00

■会場 JUAS会議室
(東京・日本橋堀留町)

■受講料

JUAS会員／ITC : 108,000円
一般 : 126,000円

※消費税、テキスト代を含みます

■定員 25名

JUAS seminar

60

JUAS オーダーメイド研修 (企業内研修)

JUASでは、メールやホームページ、パンフレット等でご案内の「オープンセミナー」に加え、貴社のご要望に合わせたオリジナル研修として「オーダーメイド研修」をご提供しております。貴社の現状からあるべき姿へ至るプロセスを共有し、人材育成支援策をご提案いたします。

<http://www.juas.or.jp/seminar-event/order-made/index.html>

オーダーメイド研修（企業内研修）

JUASでは、メールやホームページ、パンフレット等でご案内の「オープンセミナー」に加え、
貴社のご要望に合わせたオリジナル研修として「オーダーメイド研修」をご提供しております。
貴社の現状からあるべき姿へ至るプロセスを共有し、人材育成支援策をご提案いたします。

JUASオーダーメイド研修

特徴・対象者

- ◆経営と情報をキーワードに、様々な受講対象に合わせたコースや教材を構成します
- ◆講義、ケーススタディ、ケースメソッド、ワークショップ等、想定する成果を得るために、最適な方式をご提案します
- ◆貴社会議室、弊協会会議室、外部会議室など、開催場所にご相談させていただきます
- ◆これまでご活用いただいた企業様からは、内容、講師両面において 非常に高いご評価を賜っております
- ◆個別講座のアレンジだけでなく、人材育成計画策定や研修体系整備の支援もお手伝いします
- ◆15名を超えるご受講対象者がいらっしゃれば、内容面でも、コスト面でも、効果的かつ効率的です

受講対象者（実績）

ユーザー企業
情報システム部門

ユーザー企業
業務部門IT推進者

情報グループ会社

SIベンダー

新入
社員

3年目

管理職

配転者

オーダーメイド研修 実施の流れ

初回お打合せ

お客様の経営課題、人材育成方針、
ニーズをお伺いし
必要なスキル、研修目的を共有化します

ご提案

具体的な研修の内容をご提案します
お見積りを提出します

お申込み

実施プログラムの調整、実施日程、会場確定後
お申込みいただきます

研修実施

研修運営と実施支援を行います

研修後 お打合せ

研修後のアンケート、研修成果からアフターフォロー
を行うとともに、研修内容の定着化、
次のステップのための取り組みをご提案します

JUASオーダーメイド研修

対象者別パッケージ事例（実績）

IT経営リーダー養成

グループ全体のIT戦略を担う次世代リーダーの養成を目的に実施
 ・ビジネスモデル策定、IT戦略策定、リーダーシップのためのファシリテーション等 基盤スキルの養成
 ・360度評価によるリーダーとしての自分を振り返る

ユーザー部門IT推進者研修

ユーザー部門のIT推進者の役割を認識し必要スキルの強化を目的に実施
 ・各種フレームを使った業務改善手法の習得
 ・各所との調整に必要となる、ヒアリング、プレゼンテーション、ファシリテーション技術の習得

IT部門配転者研修

ユーザー企業のIT人材として必要な基礎スキルの習得を目的に実施
 ・IT基礎知識、情報システム全体像の把握、学び方を伝授
 ・基盤となるロジカルシンキング、ファシリテーション技術等の養成
 ・配転にあたって自分戦略の作成

研修分野（実績）

プロジェクトマネジメント

これからプロジェクトリーダーになる方から、複数のプロジェクトを統括する方まで、階層別、役割別に研修コースをご用意しております

要求定義・要件定義

ユーザー企業の情報システム部門、業務部門のIT推進者向けに、課題解決、問題発見のスキル向上、要求分析の考え方、要件定義書の記述方法
 オーダー研修ならではの、「自社の課題」を題材に要件定義に書き起こす実践など、考え方、技法、実践をご提案します

ソフトウェア文章化作法

オープンセミナーでも人気の「ソフトウェア文章化作法」
 新人・3年目・指導者・経営層と役割別にコーディネートします

ヒューマンマネジメント ・ヒューマンスキル

ファシリテーション、コーチング、メンタリング、リーダーシップ、モチベーションマネジメントなど
 チームビルディング、組織活性化の基盤となるスキル養成をご提案します

JUAS seminar

3

JUASオーダーメイド研修

研修開催実績（抜粋）

超上流・上流・要求定義 プロジェクトマネジメント
 ITサービス・運用・開発
 契約・法令
 ビジネススキル
 動向（講演）

情報化リーダーのためのIT経営ストラテジー研修
 情報化リーダーのための業務要求定義力強化
 要求定義
 システムコンサルタント養成
 情報化企画研修
 ITプロダクトアーキテクチャ研修
 SEのための営業研修
 マーケティング入門研修

既存システム改善提案
 システムトラブルの原因と対策
 サービスサイエンス

プロジェクトマネジメント基礎
 プロジェクトマネジメント計画作成演習
 プロジェクトマネジメント実践
 リスク・マネジメント実践・開発編
 リスク・マネジメント実践・ITサービス編
 プロジェクトパフォーマンス分析実践
 調達マネジメント実践
 本当に使える見積り技術
 プロジェクト管理における指標管理

システム開発契約QCD
 営業担当者向け システム開発・運用契約の基礎知識と実務
 労働者派遣法・職業安定法の実務ポイントと派遣・常駐請負の留意点

ソフトウェア文章作法（担当者向け・指導法・個別フォロー）
 プロジェクト利害関係者との合意形成力を高める交渉・折衝力強化
 ファシリテーション強化
 発想力を磨く！問題感知／課題発見力強化研修
 組織活性化 時間の使い方
 仕事の進め方とコーチング・メンタリング

ビジネス価値を支えるIT投資
 ユーザー企業の人材育成の動向
 CEOがIT部門長に求めること
 企業IT動向調査 等

お手伝いさせていただいた企業（敬称略）

アイ・シー・エス
 イオン
 NHKメディアテクノロジー
 エクサ
 NTTインターネット
 NTTコムウェア西日本
 NTTデータCCS
 小田急電鉄
 オリックス・システム
 鹿島建設
 国分
 CTCテクノロジー株式会社
 JPビジネスサービス
 住友電工情報システム
 全日本空輸
 電源開発株式会社
 電通株式会社
 トウ・ソリューションズ
 東芝電波システムエンジニアリング
 ニチレイロジグループ本社
 ニッセイ情報テクノロジー
 日揮情報システム
 日本アクセス
 日立製作所
 日立総合経営研究所
 みずほCB
 三井情報株式会社
 三井物産
 三菱商事
 株式会社メディカルシステム研究所
 株式会社山武
 ヤマト運輸
 変化システム
 ワコール 他

4

JUASオーダーメイド研修

プロジェクトマネジメント研修 メニュー

階層別、役割別に研修をご提供します

PM上級

リスク・マネジメント実践
(開発編)

リスク・マネジメント実践
(保守・運用編)

品質マネジメント
(保守・運用編)

調達マネジメント実践

プロジェクト
・パフォーマンス
分析実践

プログラムマネジメント
即戦力アップ

プロジェクト・マネージャー経験者、
プロジェクト統括者

PM実践

プロジェクトマネジメント
実践

提案・見積実践

効果的
プロジェクトマネジメント
＜講演型＞

見積り教室
＜講演型＞

初級プロジェクト・マネージャー、
プロジェクト・マネージャー経験者

PM基礎

プロジェクトマネジメント
基礎

上流工程における
WBSの作成
・活用のポイント

プロジェクト計画
作成演習

サブリーダー、リーダー、
初級プロジェクト・マネージャー

◆JUASオープン研修では実施していない、プロジェクトマネジメント基礎研修もお手伝いしております

JUAS seminar

5

JUASオーダーメイド研修

ソフトウェア文章化作法

JUASセミナー、企業様向け研修で、これまで4000人以上の方が受講され、
好評をいただいているJUASオリジナルのコースです。

開催実績

✓JUASオープン研修において、基礎コース28回、指導者向けコース21回
(2012.12現在)

✓企業様向け研修において、ユーザー企業情報システム部門、情報システム
子会社、SI企業など、36社/55回以上の開催実績(2012.12現在)

- ・ 情報システム構築において、無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。しかし、日本語には、主語が明確でなくても何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表す曖昧な表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文章においては、具体性がなく曖昧な表現がトラブルの元になります。
- ・ JUASではソフトウェア文章における日本語のあり方について、約2年間議論を重ねる会を設け、その成果として『SEを極める仕事に役立つ文章作成術』(日経コンピュータ出版 (社)日本情報システム・ユーザー協会／福田修 編)を出版しました。
- ・ 「ソフトウェア文章化作法」講座は、この書籍の内容を教材に使い、演習を通して体験しながらソフトウェア文章作成時における日本語の記述方法を習得していきます。また、演習を通して、グループでの仕事の進め方やリーダーシップ、プロジェクトマネジメントについても実感として身に着けることができます。講師の日本語・ソフトウェア文章における知見や考え方も伝授します。
- ・ さらに「指導法」コースでは、部下の指導をされる方のために、提出された文章を正しく修正・改善するための指導法も習得していただきます。



『SEを極める仕事に役立つ
文章作成術』
(社)日本情報システム・ユーザー協会
／福田修 編
日経コンピュータ出版

6

JUASオーダーメイド研修

ソフトウェア文章化作法 研修メニュー

- ✓オープン研修の人気講座「ソフトウェア文章化作法」
企業内での実施により、学んだことの活用、定着をより強固に。
- ✓単なる文章力向上ではなく、思考力の強化、チームでの仕事のやり方を体験します。
- ✓社内階層別研修に組み込んでいただいている企業もございます。

部長向け ソフトウェア文章化作法
講演(半日)

研修:ソフトウェア文章化作法
指導法
(2日)

研修:ソフトウェア文章化作法
担当者向け(2日)
＜新人向け、3日間コースもあり＞

文章力向上
思考力強化

チームでの仕事

部下の文章指導

事前課題
(作文)

Web分析
講師赤入れ

JUAS seminar

事後課題
(作文)

Web分析
講師赤入れ

関係者
フォローアップ

参加者
個別
フィードバック

今後の
育成計画

7

JUASオーダーメイド研修

情報化リーダーのための業務要求定義力強化

情報化リーダーが果たすべき役割確認し、業務改革のゴールを明確にするための手法を体系的に理解します。具体的な事例にあてはめ演習を実施することで習得をはかります。

「業務要求定義能力」は、業務改革のゴールを明確にするために必須の能力です。「業務要求定義能力」とは、問題の構造、問題の全体像をとらえ、真の問題を発見する能力、日々の業務の中での問題発見力・問題解決力であると捉え、これらを向上させるための視点や方法を習得するために本研修を企画しました。ここでの業務改革とは、システム化による改革だけに着目するのではなく、システムと人との連携による業務プロセス全体の改善・改革をさします。

■対象

情報化リーダー、情報化推進担当者の方

ユーザー企業
情報システム部門

ユーザー企業
業務部門IT推進者

情報グループ会社

■主な講義内容

1. 本研修の狙い
2. 情報化リーダーとは一定義／役割／業務の内容
3. 業務改革の基礎知識
現行業務を是としてシステム化しない／業務改革と個人レベルの改善の違い
／業務を見直す視点／「問題」とは何か／業務を見直す視点
4. グランドデザインのための基礎知識
あるべき姿を導き出すーワークデザイン
ワークデザインの7つの原則
5. 発想を豊かにする一言葉の定義／立場を変えて考える
6. 総合演習

■講師

尾田 友志 氏
マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表

■標準日程

2日間～3日間
*研修対象者、研修目的により、ご相談させていただきます。

8

JUASオーダーメイド研修

利害関係者とのコミュニケーションに重点をおいた システムコンサルタント養成講座

プロジェクトを推進する上での様々な利害関係者の意見を調整し、プロジェクトを成功に導くために、コンサルタントとしてどのように振る舞うべきなのかを理解し行動ができるように訓練します。

基本的なコミュニケーションの知識を整理した上で、実際にケース企業をコンサルティングする立場であることを想定し、各場面で必要となるコミュニケーションを実践します。コミュニケーションの中でも、プロジェクトにおけるお客様、関係者とのコミュニケーションに焦点をあて、プロジェクトの成功のためには各場面にどのようなコミュニケーションが有効であるのかを理解していただきます。

【目的】

- (1) コンサルタントとしての基本的な立ち振る舞い、動きを理解する。
- (2) ケース企業を通して経営戦略から要件定義までの流れを理解する。

■対象 システムコンサルタントの基本的な立ち振る舞いを学びたい方

■講師 木村 玲美氏
浜松総務部有限会社 代表取締役

■標準日程 3日間(半日×6回)
*研修対象者、研修目的により、ご相談させていただきます。

■主な講義内容

(1) コンサルタントとしての基本的な立ち振る舞い、動きを理解する

- 自己のコミュニケーションスタイルの理解
- コミュニケーションのしくみ
- システムコンサルタントに必要なコミュニケーションスキル(PRAM、対話による意思決定プロセス、等)
- ファシリテーションスキル
 - 『場のデザイン』 ゴール、プロセス、雰囲気
 - 『対人関係』 傾聴、質問、主張
 - 『可視化・構造化』 課題を明確に整理、図解
 - 『合意形成』 意思決定手法、コンフリクト解消、プロセス振り返り
- 利害関係者の暗黙の期待・不安を感じたかかわり行動
- プロセス評価
- システムコンサルタントとしての自己課題、アクションプラン

(2) ケース企業を通じて経営戦略から要件定義までの流れを理解する

- 企業を取り巻く経営環境の理解(業界特性分析)
- 経営戦略策定プロセス、手法の理解(事業ドメイン、SWOT分析、BSC戦略マップ)
- IT戦略策定プロセス、手法の理解
- 情報化成熟度診断

「コンサルタントとしての基本的振る舞い、動き」は独立した講義、演習として行いますが、「ケース企業を通じて経営戦略から要件定義までの流れを理解する」ケース演習を通じてコミュニケーションスキルの実践演習を行います。

JUAS seminar

9

JUASオーダーメイド研修

交渉力・折衝力強化

プロジェクトを推進する中では、お客様、協力会社、社内の利害関係者との合意形成を適正に行って、チーム活動の進行と成果を最適化する交渉、折衝の場面が多く存在します。

本研修では、利害関係者との合意形成を果たすために、どのような整理、準備をすべきか、合意形成プロセスにおいて交渉・折衝力をより強化するためのコミュニケーション行動とは何かを、受講者が遭遇するビジネスシーンをシミュレーションし、実践的に理解、習得します。受講者の従来の交渉・折衝スタイルを見直し、より強化するためのヒントをつかませる研修です。

【研修の目的】

- (1) プロジェクト利害関係者(お客様、協力会社、社内)と、win-winの関係を構築できるような、交渉・折衝を行うことができる。
- (2) プロジェクト活動の進行、成果を最適化するコミュニケーション行動を行うことができる。
- (3) 障害・クレーム発生時に迅速に対応するとともに、調整、交渉、折衝を的確に行い、次につながる対処を行うことができる。

【到達目標】

- (1) 交渉、折衝の原理原則を理解する。
- (2) 交渉、折衝の原理原則に従った利害関係者との合意形成方法を習得する。
特に、要求仕様のヒアリングについて、留意点、ポイントを理解し、仕様変更を最小化する利害関係者とのコミュニケーション行動を理解する。
- (3) 障害・クレーム時に対処するコミュニケーション行動を理解する。

■対象 プロジェクトリーダー／プロジェクトマネージャー／ソリューション営業担当者

■講師 足立 英治氏
株式会社 フォース・トランキル 代表

■標準日程 2～3日間
*研修対象者、研修目的により、ご相談させていただきます。

■主な講義内容

内容	成果
1. 交渉・折衝の原理・原則 日常行動の振り返り／交渉・折衝のタイプ	基礎知識の理解と習得 日常行動の振り返り
2. 合意形成とコミュニケーション行動 合意形成／ヒアリングとインタビュー／聴く行動／話す行動	合意形成のためのコミュニケーション行動を振り返り改善行動を明確にする
3. 事例検討 要件定義・クレームと交渉・折衝	職場実践場面での行動振り返り改善行動を明確にする
4. まとめと改善行動発表	研修成果振り返り

10



JUASセミナーで ITC知識ポイント取得！

2010年9月1日以降に開催の
全てのJUASセミナーがITCAに認定され、
知識ポイント付与の対象となりました！

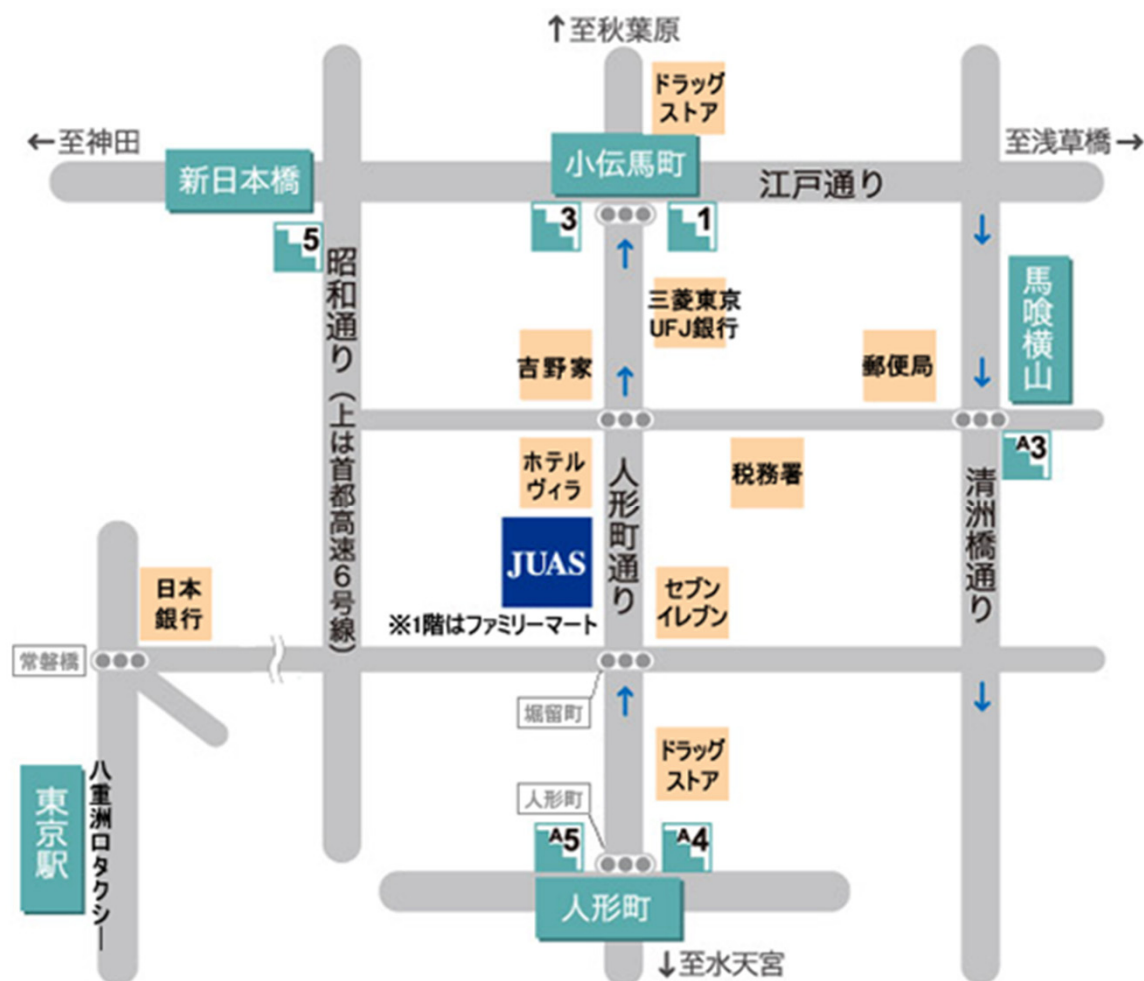
さらに、ITCA認定ITCの方は、
JUAS会員と同額でセミナー受講が可能に！

この機会に、各種JUASセミナーの
受講をぜひご検討下さい！！

セミナー受講中の方でITCの資格を有し
知識ポイント申請をご希望される方は
休憩時間にお近くのスタッフにお申出下さい。

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-10-11 井門堀留ビル 4階
TEL:03-3249-4101／FAX:03-5645-8493／E-mail:seminer@juas.or.jp

TEL:03-3249-4101(代表・会員)、4102(セミナー)、4103(セキュリティセンター)



事務所の前(人形町通り)は、南から北への5車線の一方通行です

常盤橋交差点を右折、日銀の手前の一方通行を通り、堀留(ほりどめ)町交差点で下車します。